

FUJIIRYŌKI

家庭用

Solution Premium

マッサージチェア

品番：VP-2000

医療機器認証番号：220AGBZX00216A01

類別：機械器具 77 バイブレーター

管理医療機器 一般的名称：家庭用電気マッサージ器

添付文書

取扱説明書

安全上のご注意	2
ご使用前の準備	6
各部のなまえとはたらき	12
毎回マッサージをはじめる前に	14
椅子の調節のしかた	15
自動コースの使い方	18
クイックモードの使い方	23
自動コース・クイックモード動作中の調節のしかた	26
メモリーの登録のしかた	31
マッサージの基本動作	34
メカ（もみ玉）によるマッサージ機能の使い方	35
メカ（もみ玉）によるマッサージ機能動作中の調節のしかた	38
エアーによるマッサージ機能の使い方	41
ひねりによるマッサージ機能の使い方	42
ヒーター機能の使い方	43
肩/腕のエアーマッサージ機能の使い方	44
エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた	46
メカ（もみ玉）とエアーの複合マッサージのしかた	48
途中でマッサージを変更するときは	52
その他の機能	56
お手入れと保管のしかた	58
Q & A	59
故障かなと思ったら	60
愛情点検	61
アフターサービスについて	61
仕様	62



使用目的・効能または、効果

〔 あんま、マッサージの代用 〕
〔 一般家庭で使用すること 〕

- このたびは当社のマッサージチェアをお買い上げいただき誠にありがとうございました。
- ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ご使用の前に、「安全上のご注意」(2～5ページ)を必ずお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は、「お買い上げ日・ご購入先名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。




安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」・「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告	取り扱いを誤った場合、 使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。
 注意	取り扱いを誤った場合、 使用者が傷害を負うことが想定されるか、または* 物的損害の発生が想定される 危害・損害の程度。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

<絵表示の例>



	△記号は、 警告・注意 を促す内容があることを告げるものです。 (左図の場合は一般的な警告・注意)
	⊘記号は、 禁止 の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を 強制 したり 指示 したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

お願い




- 機器本体及び付属品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせ下さい。

⚠ 警告



	<p>次の人は、使用しないでください。身体に異常が起こる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 医師からマッサージを禁じられている人 (例：血栓 [そく(塞)栓] 症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症 (皮下組織の炎症を含む) など)
	<p>次のような人は付添いの人がいない場合、使用しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • お子様 • ご自分で意思表示のできない人 • ご自分で操作できない人 <p>低温やけどや脱水症状を起こすおそれがあります。</p> <p>低温やけどについて</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> • 低温やけどは、皮膚の深部までおよび、赤い斑点や水ぶくれができるのが特徴です。 • 万一赤い斑点や水ぶくれができたときには直ちに専門医の診察を受けてください。 </div>
	<p>ヒーターは長時間使用しないでください。</p> <p>また、同一箇所に長時間触れさせないでください。比較的低い温度 (40~60℃) でも、長時間、皮膚の同じ箇所に触れていると、低温やけどのおそれがあります。</p> <p>次の人がお使いのときは、まわりの人が特に気をつけてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • お子様、お年寄り、ご病人、ご自分で温度調節ができない人 • 皮膚や皮膚感覚の弱い人 • 眠気を誘う薬 (睡眠薬、かぜ薬など) を服用された人 • 深酒・疲労の激しい人 • 血行障害 (糖尿病など) の人 • 医師より注意を受けている人
	<p>次の人は、使用前に医師に相談してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人 • 悪性しゅよう (腫瘍) のある人 • 心臓に障害のある人 • 妊娠中の人または、出産直後の人 • 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人 • 皮膚に創傷のある人 • 安静を必要とする人 • 体温38℃以上 (有熱期) の人 (例：急性炎症症状 [けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など] の強い時期。衰弱している時。) • 骨粗しょう (鬆) 症の人、せきつい (脊椎) の骨折、急性 [とう(疼)痛性] 疾患の人 • 背骨 (脊椎) に異常のある人または、背骨が左右に曲がっている人 • 捻挫、肉離れなど炎症性の人 • 椎間板ヘルニア症の人 • その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
	<p>動かなくなったり異常がある場合はすぐに電源プラグを抜いて、ご購入先に点検・修理を依頼する。感電や漏電・ショートなどによる火災のおそれがあります。</p>
	<p>脚部を下げるときは、脚部の下に足や手をはさまないようにする。また、脚部の下に人やペット、物が無いことを確認する。けがのおそれがあります。</p>
	<p>首周辺をマッサージするときは、もみ玉の動きに注意する。また、首の前方や過度に強いマッサージはしない。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>リクライニングするときや脚部を上下、伸縮するとき、うしろや脚部の前、下などに人やペット、物が無いことを確認する。事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。</p>
	<p>リクライニングするときは、背もたれ部と座部・肘掛部の間に手や腕・足・頭をはさまないようにする。けがのおそれがあります。</p>
	<p>ポイントナビで体形検出したときは、必ず肩位置が合っているか確認する。合っていないときは高さ調節ボタンで合わせてください。 (自動コース、選択機能の「全体」のとき。) 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ご使用前に背パットを上げて背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼して下さい。) 布地が破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。</p>

安全上のご注意





警告

	交流100V以外は使用しない。火災・感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。感電、ショート、発火の原因になります。
	電源コードを傷めない。 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重いものを載せない。特に移動中ははさみ込んだりしない。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させない。 また、幼児を近づけない。感電やけがのおそれがあります。
	子供に椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。故障やけがのおそれがあります。
	浴室など湿気の多い場所で使ったり、保管しない。 感電・火災・故障・カビの原因になります。
	絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。 発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。

注意

	使用時間は1回15分以内に。また、同一箇所への連続しての使用は5分以内にする。 長時間のご使用は筋肉や神経を痛めることがあります。 <お願い> 1日の使用は30分以内にしてください。
	健康な方でも下記のような人は必ず医師と相談のうえ使用する。 (1)加齢により筋肉の衰えた人や痩身の人 (2)骨や内臓に起因する腰痛の人 (3)打ち身やねんざしやすい人 (4)乗物酔いの激しい人 (5)過去に心臓や内臓の手術をされた人 守らないと健康をそこなうおそれがあります。
	使用中に身体に異常があらわれたり感じたときには、直ちに使用を中止し、医師に相談する。
	本器の使用によって発疹、発赤、かゆみなどの症状があらわれた場合は、使用を中止し医師に相談する。守らないと事故や体調不良のおそれがあります。
	ご使用後は電源スイッチを切る。 子供のいたずらなどによる事故の原因になります。
	水平な場所で使用する。故障や事故の原因になります。
	停電のときは直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 再通電されたとき事故の原因になります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く。 感電やショートして発火することがあります。
	使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 ホコリや湿気で絶縁劣化になり、漏電火災の原因になります。
	お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。 感電やけがのおそれがあります。

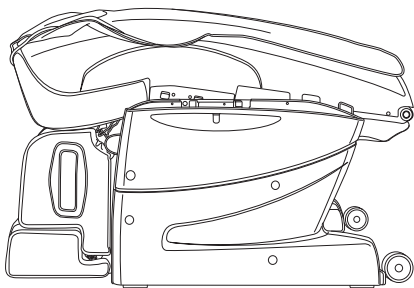
注意

	<p>腕をマッサージするときは時計・装飾品などの硬いものを装着したまま使用しない。けがのおそれがあります。</p>
	<p>もも・尻をマッサージするときはズボンのポケットに硬いものを入れたままにして使用しない。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>マッサージ動作中に電源プラグを抜いたり、電源スイッチを「切」にしない。けがのおそれがあります。</p>
	<p>本器を使用しながら他の治療器を同時に使用しない。</p>
	<p>使用中は眠らない。無意識での使用は、体調不良やけがのおそれがあります。</p>
	<p>マッサージの目的以外には使用しない。故障や事故の原因になります。</p>
	<p>電源プラグは確実に最後まで差し込み、ピンやゴミを付着させない。感電・ショート・発火の原因になります。</p>
	<p>アースを確実に取り付ける。 故障や漏電のときに感電するおそれがあります。また、アースの取り付けはご購入先にご相談ください。</p>
	<p>ストーブなど火気の近くで使用したり、たばこを吸いながら使用しない。また、ホットカーペット等の暖房器具の上で使わない。火災の原因になります。</p>
	<p>生地を無理に引張ったり、刃物やとがった物で突き刺したりしない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>ベンジン・シンナー・アルコールなどでふいたり、殺虫剤をかけない。感電・引火の原因になります。</p>
	<p>背もたれ部、肘掛部、脚部、肩部には乗らない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>木床や畳など傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずっての移動をしない。床面に傷がつきます。</p>
	<p>本器を倒したり、強い衝撃を与えない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>食後すぐに使用しない。気分が悪くなることがあります。</p>
	<p>飲酒後の使用はしない。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>人や物を乗せて移動しない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>本器に2人以上乗らない。故障やけがのおそれがあります。</p>
	<p>素肌で使用しない。素肌への直接のマッサージは皮膚を痛めることがあります。</p>
	<p>ひじ、ひざ、頭部、腹部には使用しない。また、もみ玉部に手や足をはさまない。体調不良やけがのおそれがあります。</p>
	<p>頭部に髪飾りなどの固い物をつけて使用しない。けがのおそれがあります。</p>
	<p>脚部や椅子の下側に手や頭などを入れない。事故やけがのおそれがあります。</p>
<p>脚部が上がった状態で、無理に乗り降りしない。故障やけがのおそれがあります。</p>	
	<p>操作スイッチ、タイマーなどが正常に動作することを確認する。 事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>脚部が縮む時に、座部と脚部の間に手や足を置かない。 はさまるとけがのおそれがあります。</p>
	<p>使用しても効果が現れない場合、医師または、専門家に相談する。</p>
	<p>リモコンコードに足を引っ掛けないように気をつける。けがのおそれがあります。</p>
	<p>もみ玉の位置を確認してから、ゆっくり座る。事故やけがのおそれがあります。</p>
	<p>本体移動後は静かに設置する。傷の原因になります。</p>

ご使用前の準備

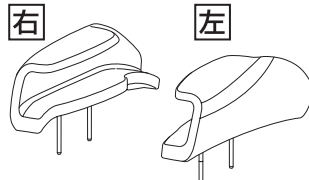
梱包箱から本体と付属品を取り出す

本体



付属品

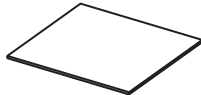
腕ユニット



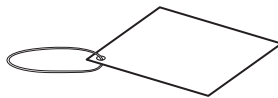
アース線



取扱説明書

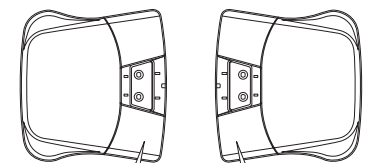


カンタン
操作ガイド

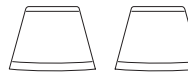


肩ユニット

前 左 後 後 右 前



肩キャップ (2個)



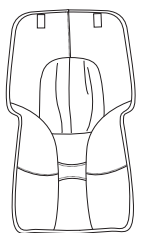
取付ネジ (4本)



枕



背パット



肩ユニット用六角レンチ



リモコンスタンド



リモコンスタンド用六角レンチ



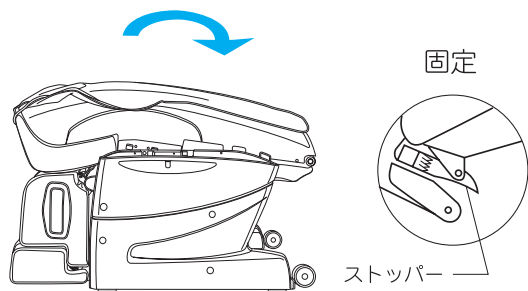
取付ネジ (2本)

お願い

付属品は、専用になりますので同梱されている物をご使用ください。

背もたれの組み立て・折りたたみ方

背もたれ部を矢印の方向に起こし、ストッパー (○部分) が固定されるのをご確認ください。(カチッと音がします。)



! 注意

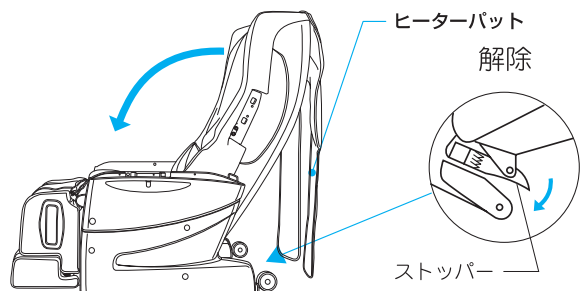


背もたれ部を動かすときに、肘掛部と背もたれ部の間に手や指を入れないでください。

背もたれ部の下にあるストッパー (○部分) を矢印のように押し下げ、背もたれ部を前にゆっくり倒してください。

※急に倒れないように注意してください。

※肩ユニット・腕ユニットが取り付けられている状態では背もたれは折りたたみません。



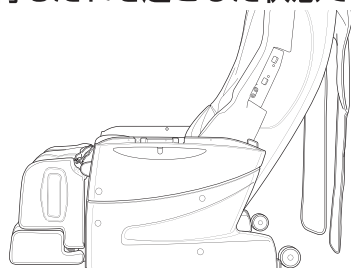
! 注意



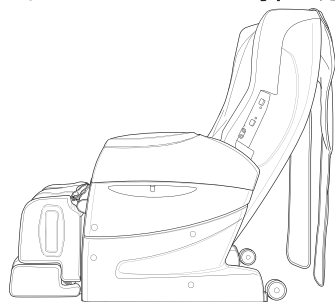
ストッパーの操作時には○部分以外にはふれないでください。

腕ユニットの取り付け方

1.腕ユニットは背もたれを起こした状態で取り付けます。



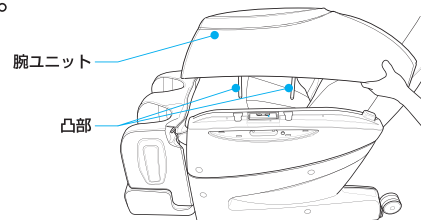
3.「カチッ」と音がするまでしっかり押し込めば完成です。



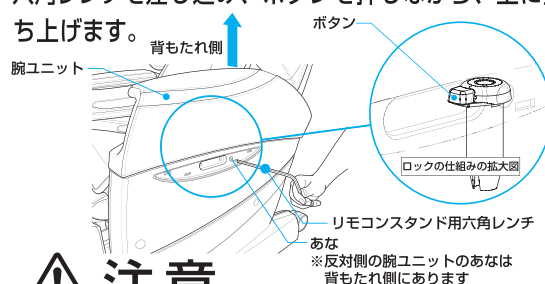
お願い

反対側も同じ方法で取り付けてください。取りはずしの際は、右図の方法に従ってください。

2.肘掛部のあな部分に腕ユニットの凸部を差し込みます。



※腕ユニットを取り外す時は、あなにリモコンスタンド用六角レンチを差し込み、ボタンを押しながら、上に持ち上げます。



⚠ 注意

しっかりと取り付けしていないと、エアーが漏れたり、腕ユニットが落下し、故障やけがのおそれがあります。

肩ユニットの取り付け方

1.肩ユニットは背もたれを起こした状態で取り付けます。



3.取付ネジで2箇所しっかりと止めてください。

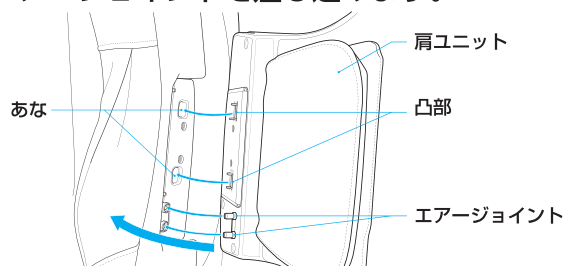


※取付ネジは奥に入るまで手で回してください。回しにくい時は、肩ユニットを手で押しあたりしてみてください。奥まで入れた後、肩ユニット用六角レンチでしっかりと止めてください。

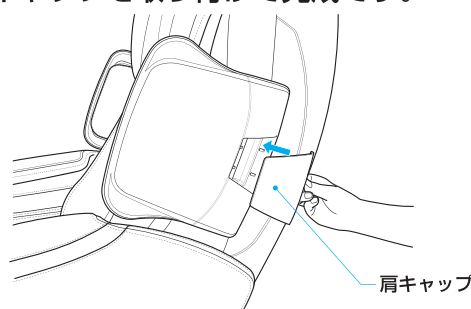
お願い

反対側も同じ方法で取り付けてください。取りはずしの際は、取り付け方を参考に行ってください。

2.背もたれのあな部分に肩ユニットの凸部、エアジョイントを差し込みます。



4.肩キャップを取り付けて完成です。



⚠ 注意

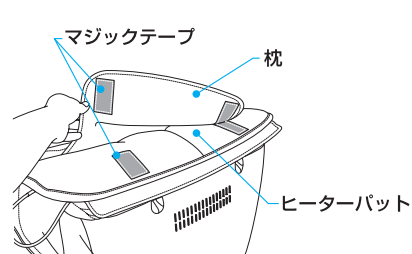
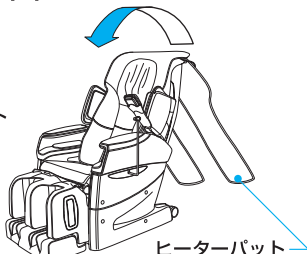
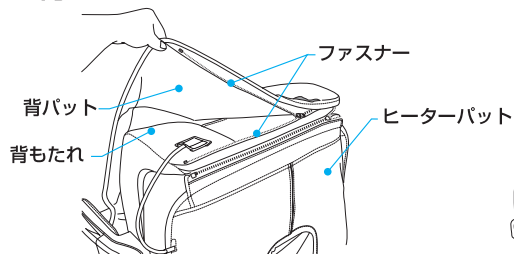
しっかりと取り付けしていないと、エアーが漏れたり、肩ユニットが落下し、故障やけがのおそれがあります。

ご使用前の準備

背パット・ヒーターパット・枕の取り付け方

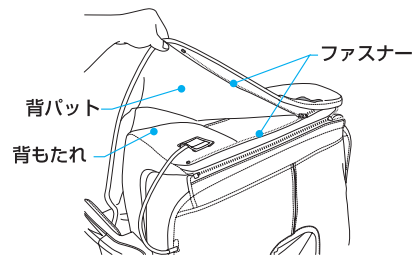
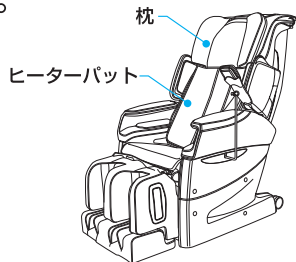
背パット・枕の取り付け方

- 1 背もたれに背パットを取り付けます。
- 2 ヒーターパットを前に回します。
- 3 ヒーターパットに枕を取り付けます。

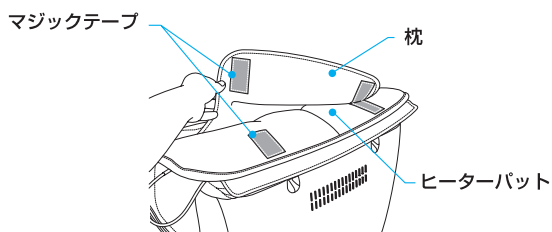


背パットを取りはずして、お使いになる場合

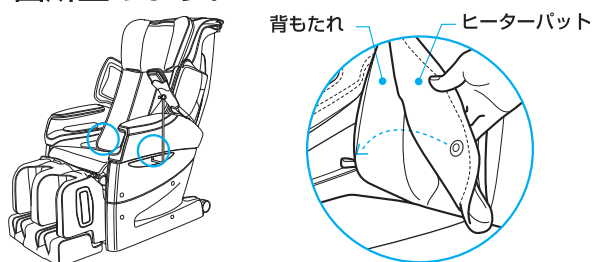
- 1 枕をはずし、ヒーターパットを後ろに回します。
- 2 背もたれから背パットをはずします。



- 3 ヒーターパットを前に回し、枕を取り付けます。



- 4 ヒーターパットと背もたれをボタンで2箇所止めます。



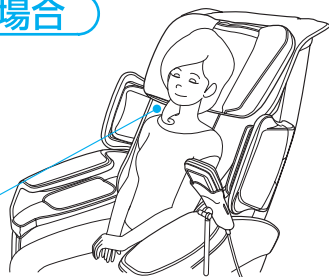
- 体前面をあたためる場合は、ボタンをはずしてお使いください。
- マッサージを行うときは、枕を後ろに回してお使いください。● マッサージが強く感じる場合は枕を付けてお使いください。
- マッサージを行わないときは、背パット・枕を取り付けたままリクライニングチェアとしてお使いになれます。

ヒーターパットの使い方

背中をあたためる場合

- ヒーターパットを背中後ろに敷いてください。

ヒーターパット



体前面をあたためる場合

- ヒーターパットを体の前に掛けてください。
※ 枕を後ろに回すか、取りはずして使用してください。

ヒーターパット



警告



ご使用前に必ず背パットを上げて、背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。

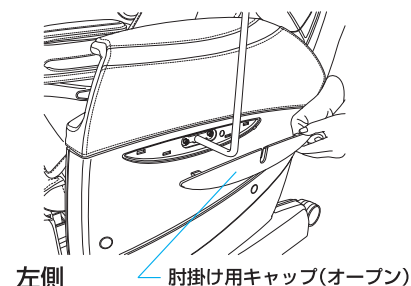
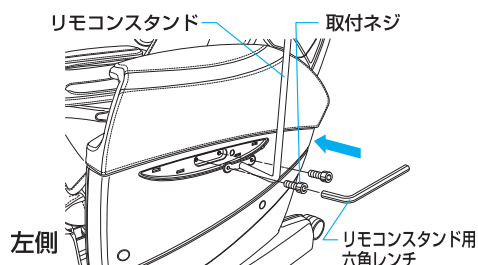
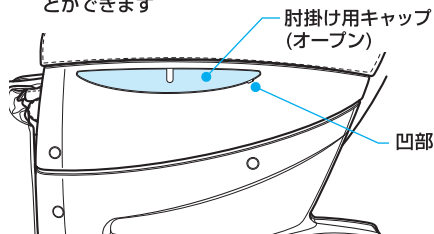
(小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。) 布地が破れた状態で使用すると、感電やけがのおそれがあります。

リモコンスタンドの取り付け方

※リモコンスタンドは通常左側に付けるようになっています。右側に付けたい場合は、次のページに従い作業してください。

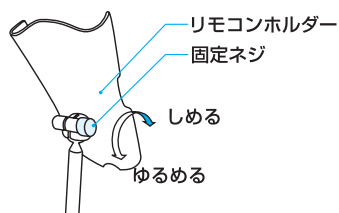
1. 本体左側の肘掛けの凹部から肘掛け用キャップ(オープン)をはずします。
2. リモコンスタンドを本体左肘掛に取付ネジで2箇所しっかり止めてください。
3. 肘掛け用キャップ(オープン)を取り付けて、完成です。

※本機は左右にリモコンスタンドを取付けることができます



リモコンホルダーの調節

固定ネジを回して、お好みの位置で固定してください。



お願い

取りはずしの際は、取り付け方を参考に行ってください。

リモコンの取り付け方・はずし方

取り付け方

上から差し込むように取り付けてください。

はずし方

上へ引き上げてください。



完成図

リモコンスタンドにひもを通して「カンタン操作ガイド」をつりさげてください。



⚠ 注意

しっかりと取り付けしていないと、リモコンスタンドが落下し、故障やけがのおそれがあります。

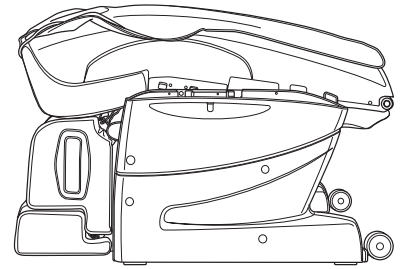
ご使用前の準備

リモコンスタンドの付替え方

<設置後、左側から右側に付替える場合>

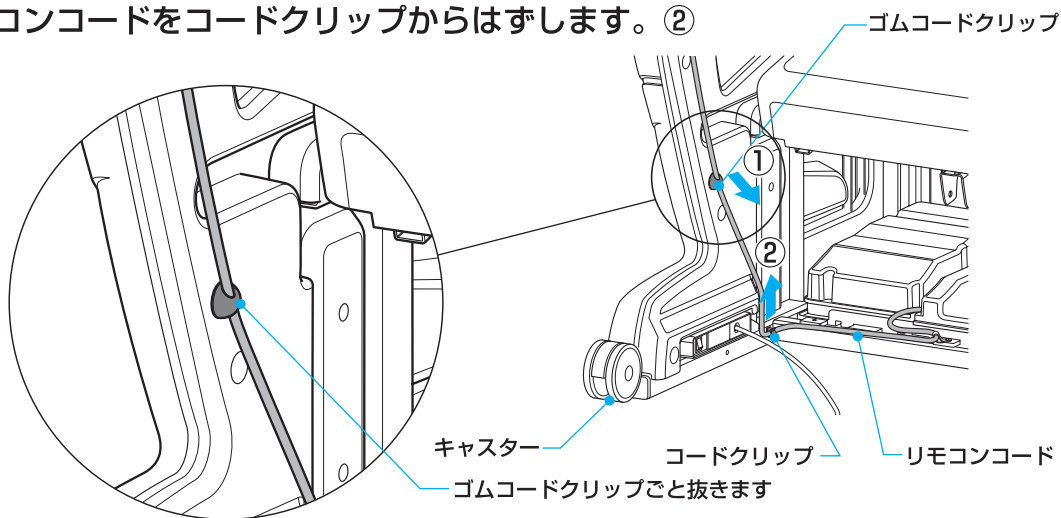
はじめに

- 枕・背パットをはずしてください。(P8参照)
- リモコンスタンドからリモコンをはずし、肩ユニット、腕ユニットをはずし、背もたれを倒してください。(P6・7・9参照)

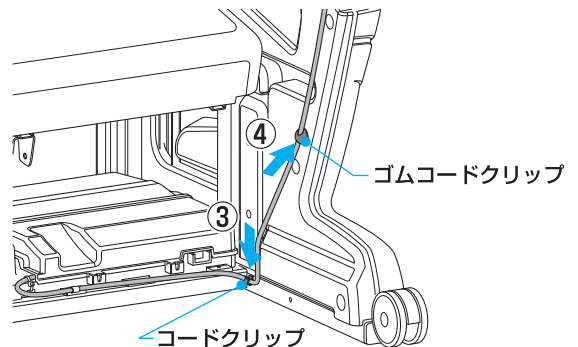
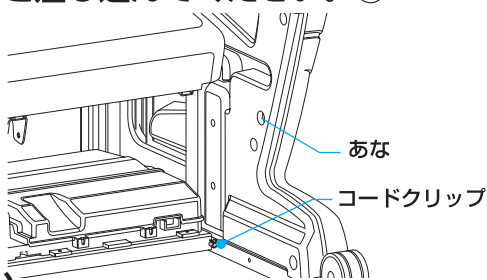


<最初の組み立て時から右側にする場合は下の1.からはじめます。>

- 1.肘掛部の後ろにある、ゴムコードクリップをはずします。①
- 2.リモコンコードをコードクリップからはずします。②



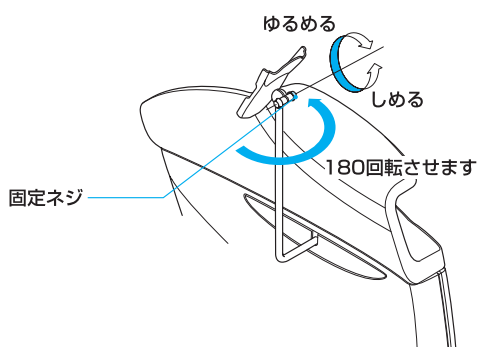
- 3.反対側のコードクリップにリモコンコードを引っ掛けてください。③
- 4.リモコンコードがたるまないようにゴムコードクリップの位置を調節し、肘掛のあなにしっかりと差し込んでください。④



お願い

コードがたるんでいると断線の恐れがあります。

- 5.背もたれ部を起こし、腕ユニット、肩ユニットを取り付けます。(P7 参照)
- 6.リモコンスタンドを右肘掛けに取り付け、リモコンホルダーの角度を調節します。(P9 参照)
- 7.枕・背パットを取り付けます。(P8 参照)



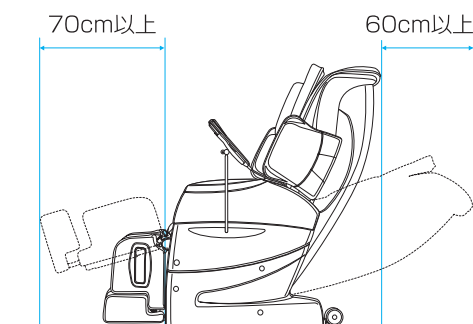
完成図



本体の設置のしかた

周囲にすき間をあけて、水平なところに設置します。

- お願い** リクライニングしたとき脚部も上がりますので、あたらないようあらかじめ、前方向に70cm、後方向に60cm以上のすき間をあけてください。
- お願い** たたみや床を傷つけることがありますので、本体の下にマットなどを敷くことをおすすめします。
- お願い** 直射日光が毎日長時間あたるところや、暖房器具の近くなど高温になるところへの設置は避けてください。張り地が変色したり、変質するおそれがあります。

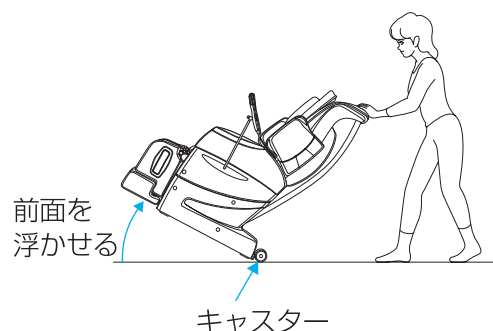


本体の移動のしかた

本体の前面を浮かし、押して移動します。

⚠ 注意

- 人や物を乗せて移動しないでください。転倒のおそれがあります。
- 傷つきやすい床面で、キャスター移動や引きずっての移動をしないでください。
- 座部や脚部、肩部は持たないでください。
- 前面を浮かせる際は重量がありますのでご注意ください。



アースについて

⚠ 注意

アースを確実に取り付ける。
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。アースの取り付けは、ご購入先にご相談ください。

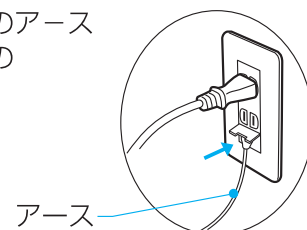


接続してはいけないところ

ガス管……爆発や引火の危険があります。
電話線や避雷針……落雷のとき危険です。
水道管……途中がプラスチックの場合はアースになりません。

電源コンセントにアース端子がある場合

- アース線（付属）を本体のアース端子ネジ電源コンセントのアース端子に取り付けてください。



電源コンセントにアース端子がない場合

- ご購入先・電気工事に相談し、アース工事（D種〈第3種〉接地工事・有料）をしてください。

各部のなまえとはたらき

本体

ヒーターパット

背パット

この上にゆったりと
もたれてください。

肩部

肩部のエアー
マッサージを行います。

腕部

腕部のエアー
マッサージを行います。

座部

尻・もものエアー
マッサージを行います。

脚部

脚部のエアーマッ
サージを行います。

枕

マッサージするときは後ろに
回してください。

背もたれ部

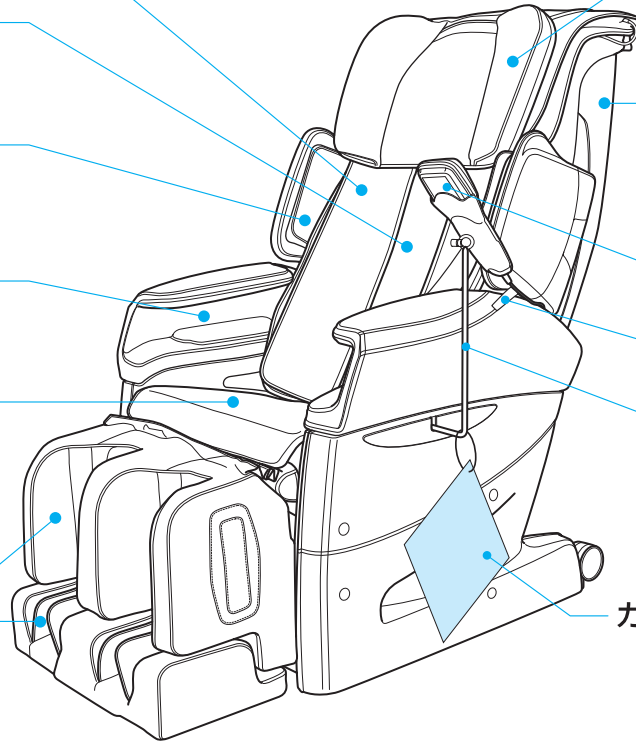
背中全体のマッサージに加え、
背・腰部のエアーマッサージを
行います。

注意シール

注意タグ

リモコンスタンド

カンタン操作ガイド



マッサージの位置

電源スイッチ

ご使用後は
「切」に
してください。

電源コード

電源プラグ

アース端子

※アースを取り付けてください。

キャスター

メカ (もみ玉) の
マッサージ領域

肩

背

腰

腕

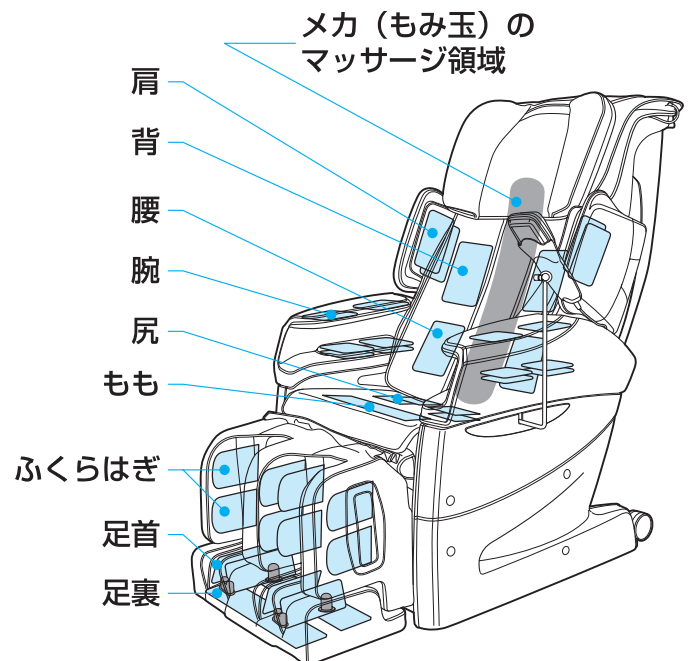
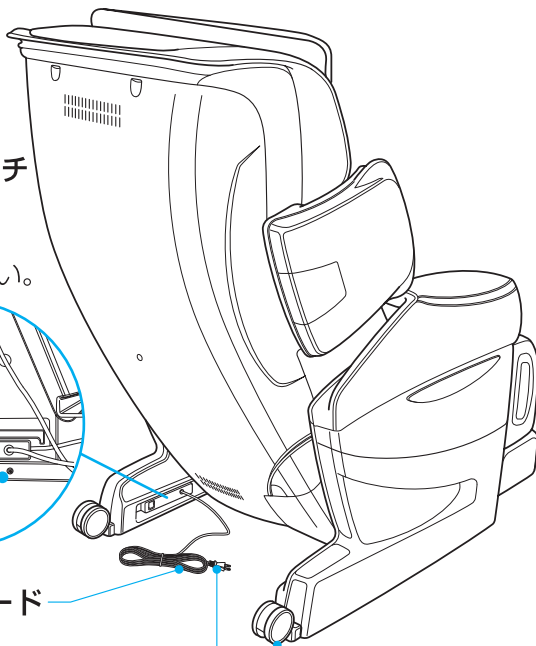
尻

もも

ふくらはぎ

足首

足裏



リモコン

液晶表示部

情報を表示します。

「入/切」ボタン

マッサージの開始、並びに終了し、もみ玉の収納を行います。

「自動コース」ボタン

マッサージしたい部位あるいはマッサージの内容を12種類の自動コースから選べます。

「エアー」ボタン

エアーマッサージしたい部位を4種類の中から選択できます。

脚
もも・尻
腰
背

「リピート」ボタン

自動コース中に現在行っているマッサージを再度行うことができます。

「スキップ」ボタン

自動コース中に現在行っているマッサージを中止し、次のマッサージ部位に移ることができます。

「肩」ボタン

肩のエアーマッサージの「入/切」または、強さを5段階に調節ができます。

「メニュー」ボタン

現在行っているマッサージの調節ができます。

「十字キー」

様々な場面で選択を行うときに使用します。

「ひねり」ボタン

ひねりマッサージの設定と解除ができます。

「決定」ボタン

選択を決定します。

「上げる」「下げる」ボタン

脚部の角度を調節できます。
※上下中はエアーを停止します。

「伸ばす」「縮める」ボタン

脚部の長さを調整できます。
※伸縮中はエアーを停止します。

「クイック」ボタン

あらかじめプログラムされた身体別の標準体型に合わせた自動コースが選べます。

「停止」ボタン

全ての動作を停止します。
(すぐにマッサージを停止したいときに押してください。)

「機能」ボタン

23種類のマッサージの中からお好みの機能を選択することができます。

もみ上げ もみ下げ 深もみ上げ 深もみ下げ たたき さざなみ 指圧 さすり	首ほぐし 極もみ 極たたき 背筋のばし 腰極 ストレッチ 3D	腰尻マッサージ 腰極もみ 腰極たたき ストレッチ ストレッチもみ上げ ストレッチたたき ストレッチさざなみ 3Dもみ上げ 3Dもみ下げ 3Dたたき 3Dさざなみ
--	---	--

「高さ調節」ボタン

自動コース中と選択機能時の肩位置設定時に肩位置微調節ができます。
※選択機能時にもみ玉の位置移動もできます。

※自動コース中で、メカ(もみ玉)が肩・背付近にあるときは「肩」の、腰付近にあるときは「腰」位置微調節画面が出ます。ただし、腰位置微調節は自動コース中の「腰極もみ」「腰極たたき」の時だけに対応します。

「腕」ボタン

腕のエアーマッサージの「腕もみ/腕つかみ/切」または強さを3段階に調節ができます。

「ヒーター」ボタン

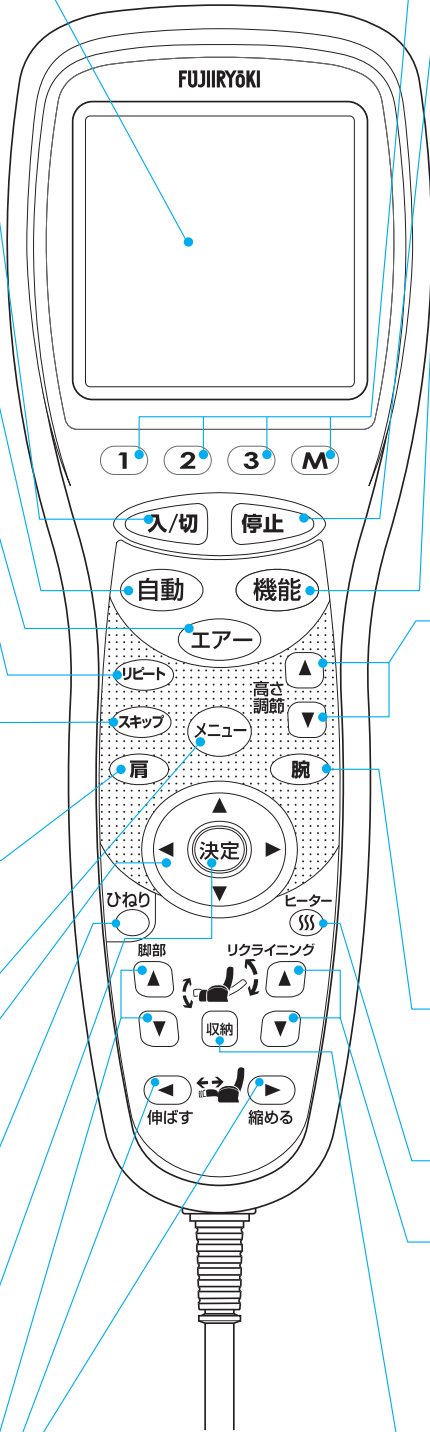
ヒーターを「入/切」します。

「起こす」「倒す」ボタン

背もたれと脚部の角度を調節できます。脚部は背もたれと連動します。
※リクライニング中は「エアー」「たたき」「さざなみ」の動作は停止します。

「収納」ボタン

背もたれと脚部を収納します。
※背もたれは完全には起き上がりません。



毎回マッサージをはじめる前に

電源を入れる

1 電源コードのプラグをコンセントに差し込む

2 電源スイッチを入れる

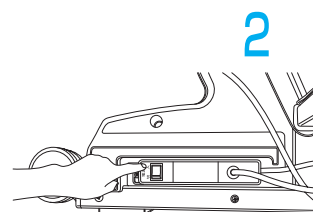
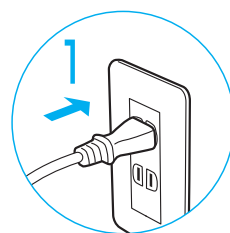
- 電源スイッチは、左の肘掛部の後ろにあります。
- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が表示されます。

警告

交流100V以外は使用しない。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

感電、ショート、発火の原因になります。

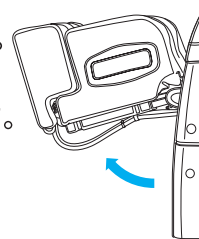


確認する内容

1 周囲を確認する

- ① 本体のうしろや脚部の前、下など、周囲に人やペット、物がないことを確認する。
〈スタンバイ位置〉

マッサージを開始するときに「入/切」を押すと、自動的に脚部が約50°まで上がります。
※周囲の確認は必ず行ってください。



2 本体を確認する

- ① 背パットを上げて背もたれの布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。

※小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼してください。

- ② 電源コードやリモコンコード、または物が本体に挟まっていないか確認する。

- ③ 電源コードやリモコンコード、電源プラグが傷んだり、プラグにピンやゴミが付いていないか確認する。

- ④ 座る前にもみ玉の位置を確認する。

- もみ玉は通常、収納位置（背もたれの最下部に引っ込んだ状態）にあります。

- もみ玉が収納位置にない場合「入/切」を押すと最下部まで移動します。再度「入/切」を押すと収納位置に戻ります。

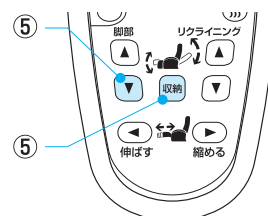
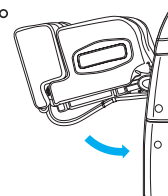
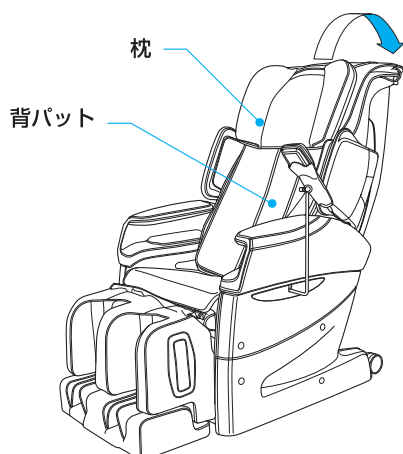
収納位置



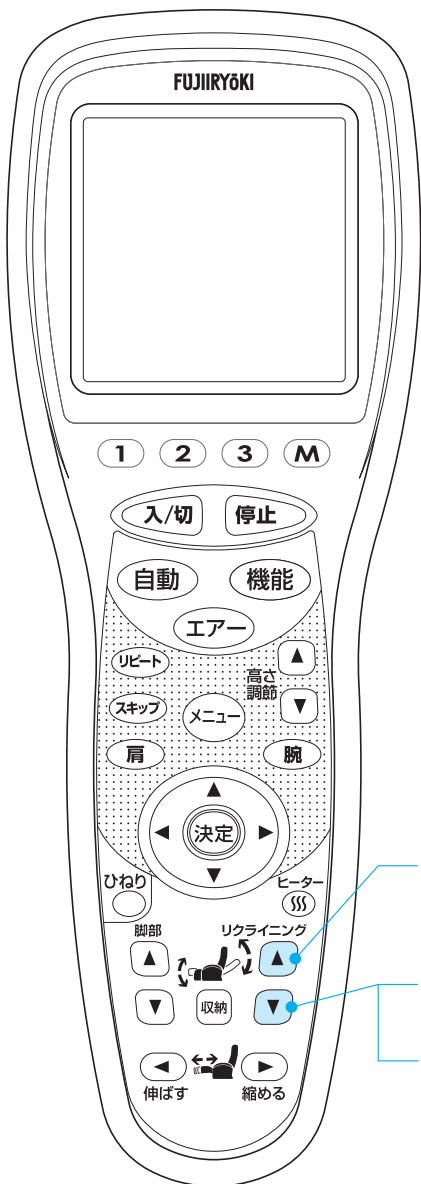
- ⑤ 座る前に脚部の位置を確認する。

- 脚部が上がった状態で、無理に座ろうとすると、けがをするおそれがあります。脚部の「▼」を押す、または「収納」を押して、脚部を下げてください。

※「収納」を押すと背もたれも同時に収納します。



リクライニングの使い方



1 背もたれを倒すときは、リクライニングの ▼ を押します。

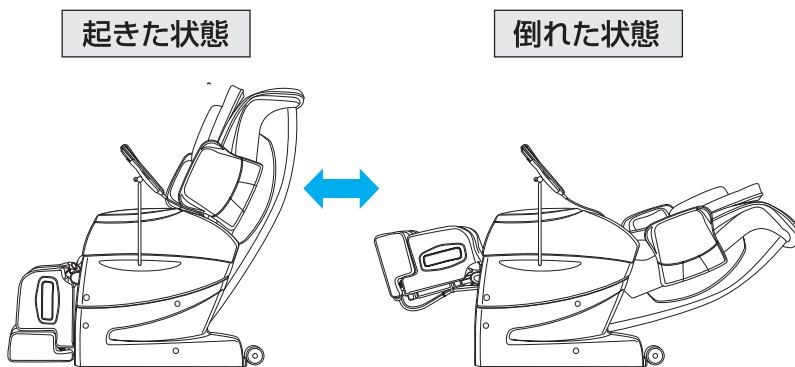
- リクライニングの ▼ を押し続けると背もたれが倒れ、脚部が上がります。
- 深く倒すほど、もみ玉の刺激が強くなります。

2 お好みの角度でリクライニングの ▼ から手を離します。

- 背もたれのリクライニング角度によって、脚部の角度も変わります。

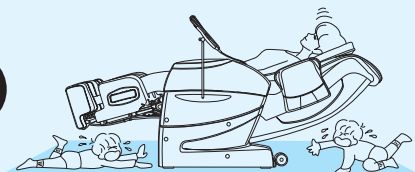
3 背もたれを起こすときは、リクライニングの ▲ を押します。

- リクライニングの ▲ を押し続けると背もたれが起き、脚部が下がります。



警告

リクライニングするときや脚部を上下、伸縮するとき、うしろや脚部の前、下などに人やペット、物がないことを確認する。事故やけが、家財を傷めるおそれがあります。



注意

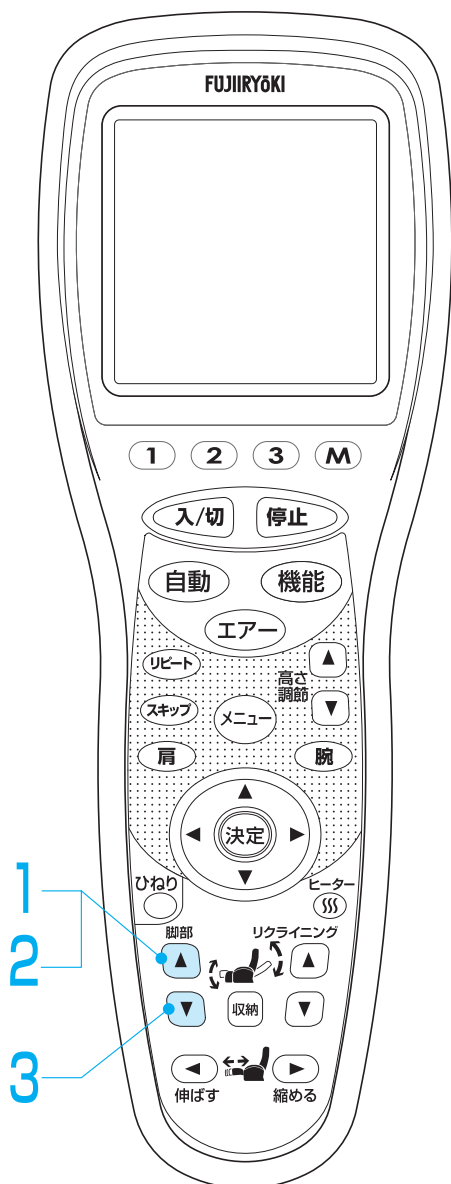
背もたれ部、肘掛部、脚部、肩部には乗らない。使用者、本体が転倒して、事故やけがのおそれがあります。



お願い マッサージ中にリクライニングするときは、マッサージの強さをみながら徐々に倒してください。

椅子の調節のしかた

脚部の使い方



1 脚部を上げるときは脚部の ▲ を押します。

• 脚部の ▲ を押し続けると脚部が上がります。

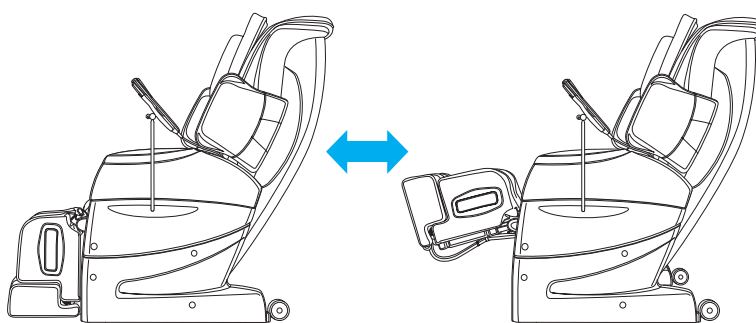
2 お好みの角度で脚部の ▲ から手を離します。

3 脚部を下げるときは脚部の ▼ を押します。

• 脚部の ▼ を押し続けると脚部下がります。

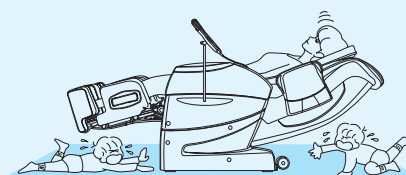
下げた状態

上げた状態

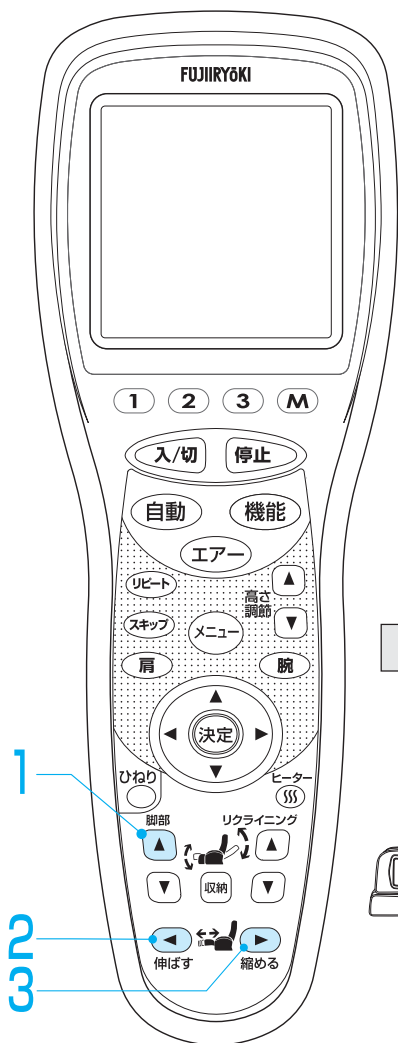


警告

脚部を下げるときは、脚部の下に足や手を挟まないようにする。また、脚部の下に人やペット、物が無いことを確認する。
けがのおそれがあります。



脚部伸縮の使い方



1 お好みの角度まで、脚部の ▲ を押し、脚部をあげます。

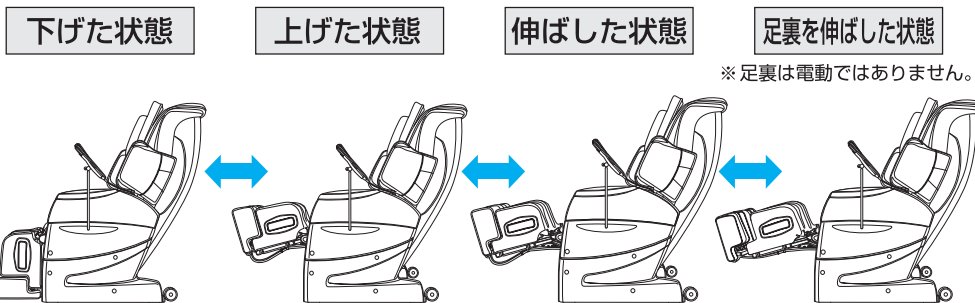
- 伸縮機能は脚部が25°未満では、使えません。
- 25°～50°未満の範囲では、角度により脚部の伸びる長さが変わります。
- 脚部は50°以上で最も伸びます

2 お好みの長さまで、◀ を押し、脚部の長さを調整します。

- ◀ を押し続けると脚部が伸びます。

3 脚部を縮めるときは ▶ を押しします。

- ▶ を押し続けると脚部が縮まります。
- ※ 足裏部は、スプリングで伸び縮みします。お好みの位置で調整できます。



1
2
3

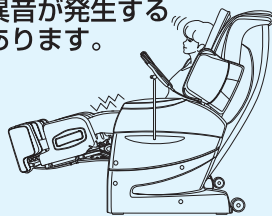
⚠ 注意

脚部が上がった状態で、無理に乗り降りしない。
故障やけがのおそれがあります。



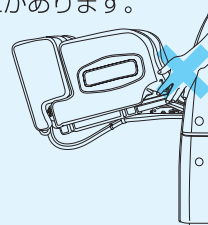
お願い

伸縮中は、足に力を入れないでください。脚部故障の原因になります。また、異音が発生することもあります。

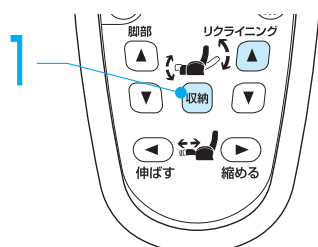


⚠ 注意

脚部が縮む時に座部と脚部の間に手や足を置かない。けがのおそれがあります。



収納の使い方



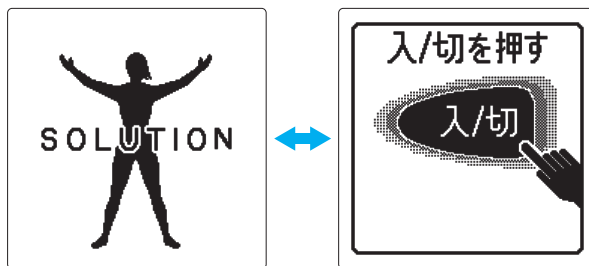
1 背もたれと脚部を収納するときは [収納] を押しします。

- 背もたれが約132°まで起き上がり、脚部が縮まり、下限位置まで下がります。
- ※ 収納は液晶表示部が初期状態にあるときのみ選択できます。
- ※ 背もたれは完全には起き上がり途中で止まります。さらに起こすときは、リクライニングの ▲ を押しすと、完全に起き上がります。

自動コースの使い方

はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- 自動コースからほかの自動コースへ変更する場合、自動コース以外のマッサージから自動コースへ変更する場合。(P52参照)



1 「入/切」を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。(途中で止めたいときは「停止」を押します。)
- 待機画面が表示されます。
- 椅子に深く腰をかけて、頭を背もたれにつけるようにゆったりともたれてください。



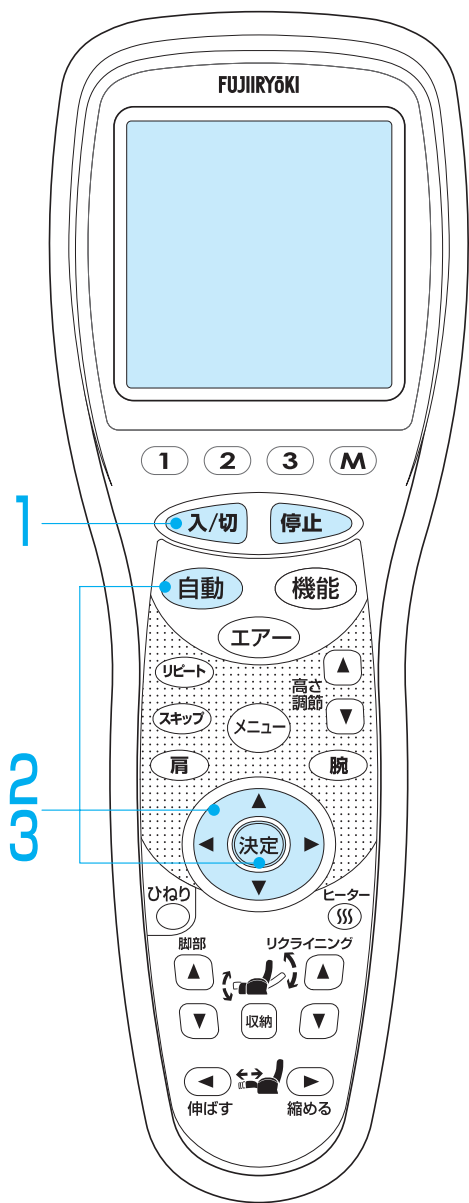
2 「自動」を押す。または「決定」を押す。

- 自動コースの一覧が表示されます。
- ※ 「決定」を押さなくても5秒後にはスタートします。(以後も全て同じ。)



3 「決定」を押す。または「自動」を押す。

- 「首・肩」「全身」「腰」「ストレッチ」「短縮」の5つのコースの中から選択します。
- 「全身」コースにはさらに4つのコースが、「首・肩」「腰」にはさらに3つのコースが選択できます。



4 選んだコース名が表示され、自動コースがスタートするとともに体形検出動作が始まります。

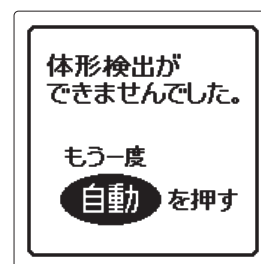
- 「短縮」コースを選択した場合は、体形検出を行いません。



5 体形検出中は、検出ポイントが点灯し、検出インジケータで検出レベルを表示します。

※人が座っていない時や、体形検出できなかった時は「体形検出ができませんでした。」が表示されますのでもう一度

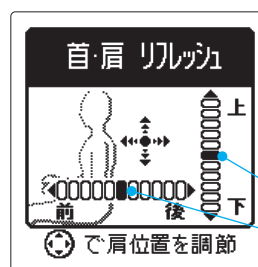
自動 を押して体形検出を行ってください。




6 体形検出につづいて所定の肩位置に移動します。

7 所定の肩位置が合わないときは、お好みの肩位置に合わせて微調節できます。

「ピッ、ピッ…」のブザーが鳴っている間に、 を押して調節し、**決定** を押す。



- このとき、 でもみ玉の前後位置も調節できます。自動コース中の「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」動作時に調節した前後位置でマッサージします。(「全身」と「首・肩」の「疲労回復」コース時のみ有効。)



自動コースの使い方

- 肩位置の微調節は高さ調節の ▲ ▼ でも調節できます。
- 入/切 を押して体形検出すると、マッサージを終了するまで体形を記憶します。記憶した体形を変更したい場合は 入/切 を押して終了してから、再度はじめてください。



8 肩位置微調節の、受付時間が経過すると、「ポイントナビ検出完了」を表示します。



9 あなたの背筋カーブを表示します。



10 現在マッサージ中の自動コースが液晶画面に表示されます。

現在のマッサージの内容

次のマッサージの内容

肩のエアーマッサージの強さ

腕のエアーマッサージの強さと内容

残り時間

エアの動作状態

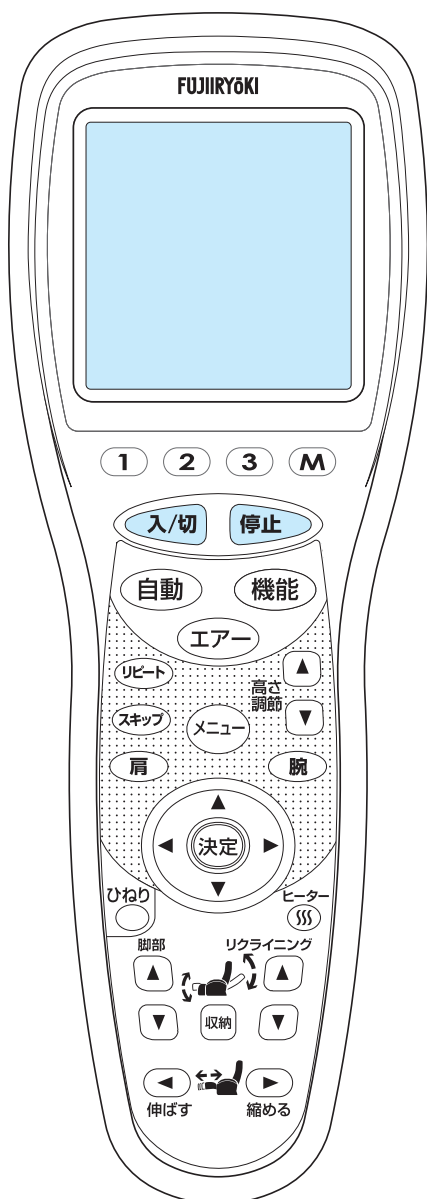
メカ（もみ玉）の強さ

エアの強さ

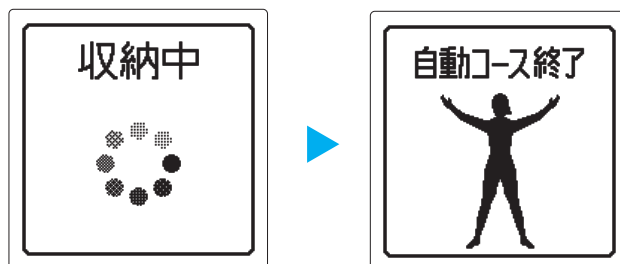
メカ（もみ玉）の現在位置

エアオプション機能

自動コース名



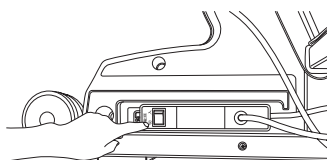
11 自動コースが終了すると、自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。



12 使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。

- 誤ってリモコンを操作して動き出すことを防止します。

⚠ 注意



- ご使用後は電源スイッチを切る。
子供のいたずらなどによる事故の原因になります。

ただちにマッサージを停止する場合

停止 を押してください。

- もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。
- 待機画面が表示されます。



途中でマッサージを終了する場合

入/切 を押してください。

- もみ玉は収納位置まで移動します。
- もみ玉が収納された後、初期画面が表示されます。



自動コースの使い方

お知らせ

ポイントナビについて

- 自動コース使用時のみ、マッサージを行う前に体形や姿勢を測定する機能です。
- 体形に合わせたマッサージラインを知ること、効果的なマッサージが行えます。

自動コースの内容について

- マッサージしたい部位、あるいはマッサージの内容を12種類の自動コースから選べます。

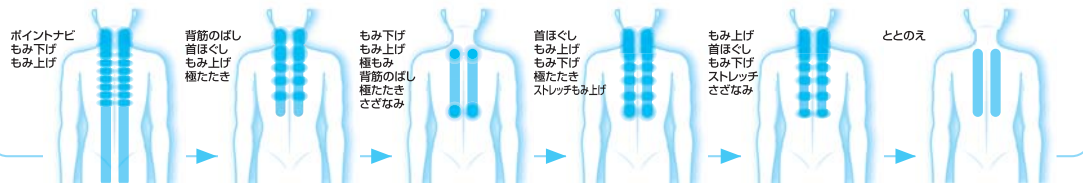
	<疲労回復> くまなく	<リフレッシュ> ゆったり	<やすらぎ> やさしく	<エア> エアのみ	<全身ストレッチ>
(首・肩) コース<約15分> 首・肩を重点的にほぐしたいときに効果的です。	●	●	●		
(全身) コース<約15分> 背中全体をほぐしたいときに効果的です。	●	●	●	●	
(腰) コース<約15分> 腰部を重点的にほぐしたいときに効果的です。	●	●	●		
(ストレッチ) コース<約15分> ストレッチを重点的に行う。					●

(短縮) コース 全身コースを約7分間に短縮したコースです。

※ 短縮コースは体形検出を行いません。

- 下図は分かりやすくするため要点のみ示しています。また、エアーマッサージ・下半身は省略しています。

首・肩疲労回復コース



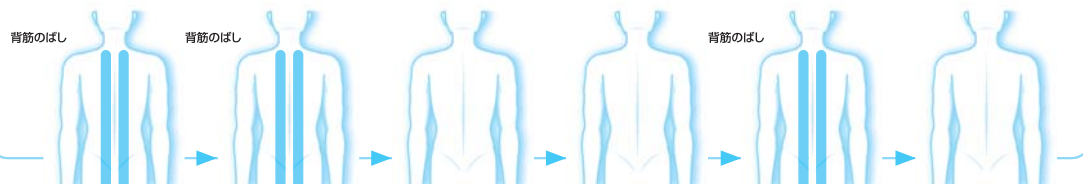
全身疲労回復コース



腰疲労回復コース



全身ストレッチコース



短縮コース



クイックモードについて

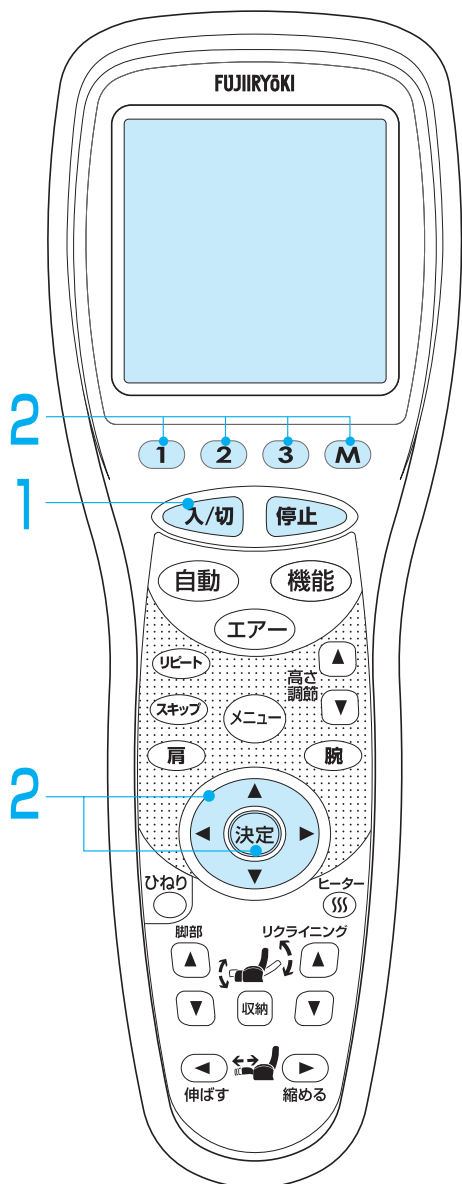
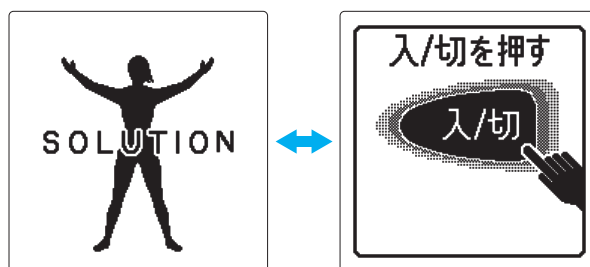
- あらかじめプログラムされた身長別の標準体形に合わせた自動コースが選べます。ポイントナビが作動しませんので、すぐにお使いになりたいときにおすすめします。



- ① …身長155cm前後の人用
- ② …身長165cm前後の人用
- ③ …身長175cm前後の人用
- Ⓜ …あらかじめプログラムされた自動コース内容の変更、登録をすることにより、オリジナルのコースを使用することができます。（P31参照）
初期は身長168cmの人用に設定されています。

はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- クイックモードからほかのクイックモードへ変更する場合、クイックモード以外のマッサージからクイックモードへ変更する場合。（P53参照）



1 入/切 を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。（途中で止めたいときは 停止 を押します。）
- 待機画面が表示されます。

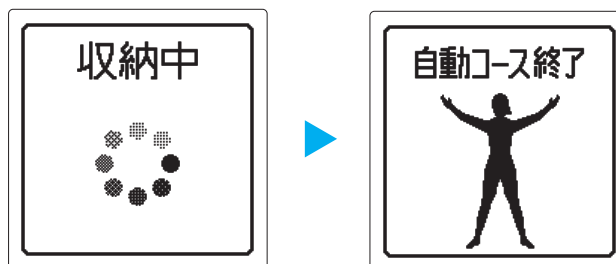


2 ① ② ③ Ⓜ のいずれかを押す。または 決定 で「1」「2」「3」「M」のいずれかを選択し、決定 を押す。

- 自動コースの一覧が表示されます。



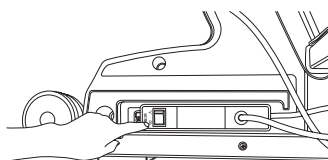
6 クイックモードが終了すると、自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。



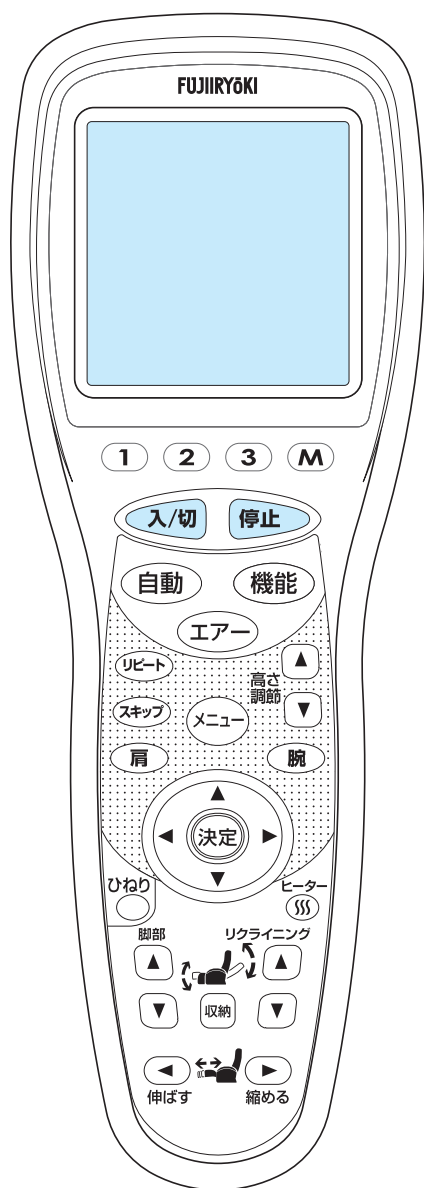
7 使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。

- 誤ってリモコンを操作して動き出すことを防止します。

注意



ご使用後は電源スイッチを切る。
子供のいたずらなどによる事故の原因になります。



ただちにマッサージを停止する場合

停止 を押してください。

- もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。
- 待機画面が表示されます。



途中でマッサージを終了する場合

入/切 を押してください。

- もみ玉は収納位置まで移動します。
- もみ玉が収納された後、初期画面が表示されます。



自動コース・クイックモード動作中の調節のしかた

1 メカ（もみ玉）によるマッサージの強さを調節したいとき

🕒 を押して調節し、🟢 を押す。

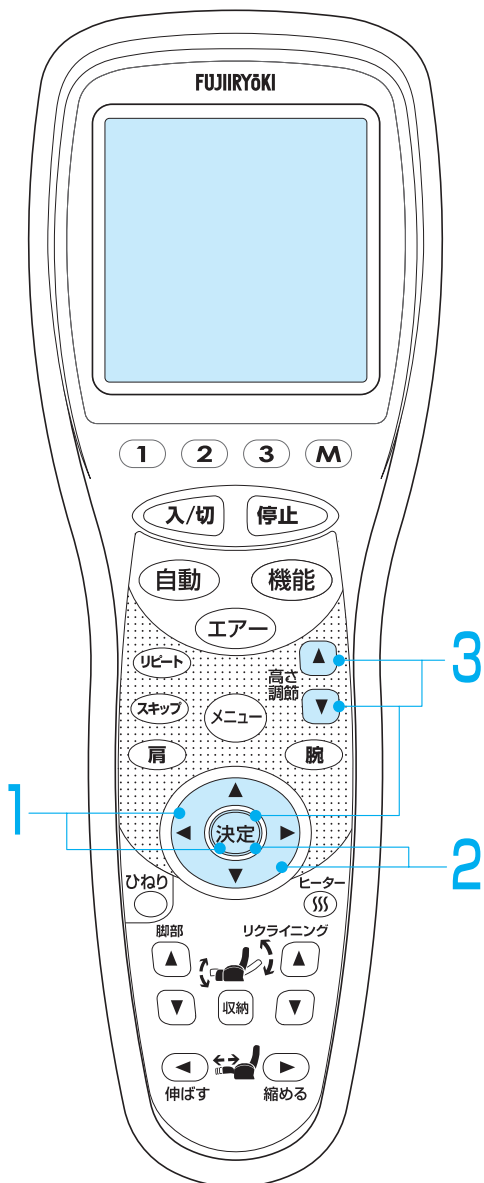
- メカ（もみ玉）によるマッサージの強さは7段階に調節できます。
- 最初は強さ「4」に設定されています。



2 エアーによるマッサージの強さを調節したいとき

🕒 を押して調節し、🟢 を押す。

- エアーの強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 肩/腕のエアーマッサージの強さを調節したいときは P29・30を参照してください。

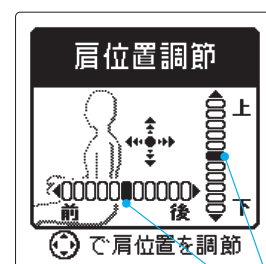
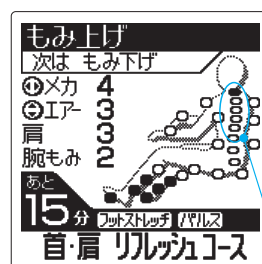


3 肩位置・もみ玉位置を調節したいとき

メカ(もみ玉)位置が肩・背付近にあるとき高さ調節の ▲ ▼ を押して調節し、🟢 を押す。

- 肩位置の調節は高さ調節の ▲ ▼ を一度押した後、🕒 でも調節できます。このとき、🕒 でもみ玉の前後位置も調節できます。

自動コース中の「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」動作時に調節した位置でマッサージします。（「全身」と「首・肩」の「疲労回復」コース時のみ有効。）




肩・背付近

1目盛 約 2mm
1目盛 約 12mm

4 腰極もみ・腰極たたき位置を調節したいとき

メカ(もみ玉)位置が腰付近にあるとき、高さ調節の ▲ ▼ を押して調節し、決定を押す。

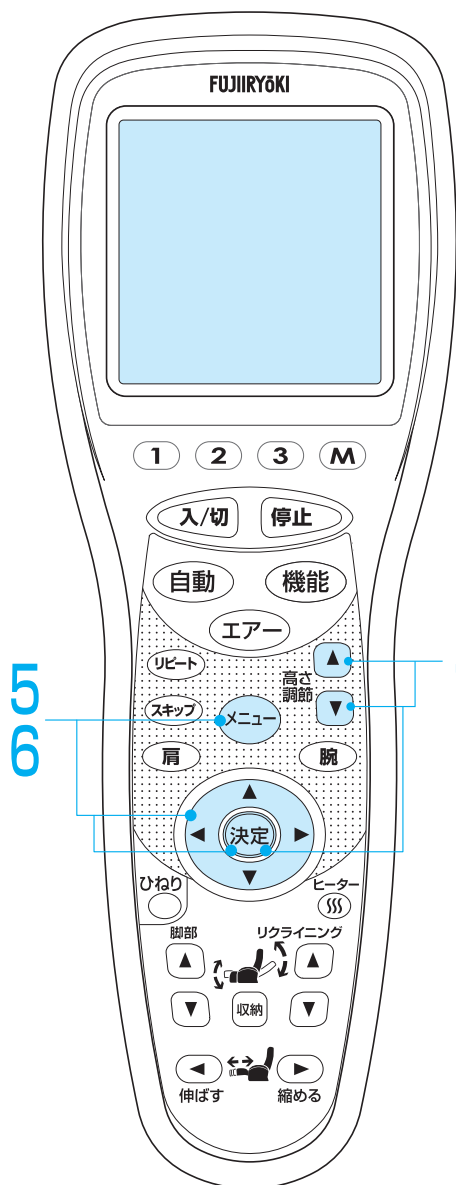
- 腰位置の調節は高さ調節の ▲ ▼ を一度押した後、でも調節できます。

自動コース中の「腰極もみ」「腰極たたき」動作時に調節した位置でマッサージします。(「全身」と「腰」の「疲労回復」コース時のみ有効。)

1目盛約12mm



腰付近



5 「パルス」を入/切したいとき

メニューを押してで「パルス」に合わせ、で「ON/OFF」を選択し、決定を押す。

- パルスを選ぶとエアによるマッサージが小刻みに回数多く行われます。
(例)腰、背のエアーマッサージ 強さ「3」のとき
通常⇒およそ7秒間に1回
パルス⇒およそ12秒間に7回

- 最初は「ON」に設定されています。
 - 選択されている部分は反転表示されます。
- ※腕エアーマッサージは、パルスを行いません。



6 「脚同時」を入/切したいとき

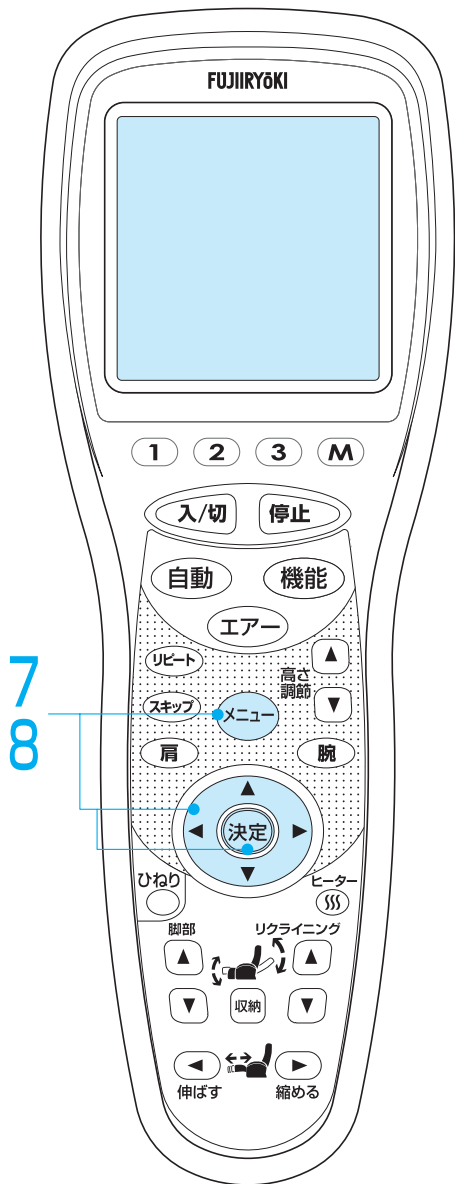
メニューを押してで「脚同時」に合わせ、で「ON/OFF」を選択し、決定を押す。

- 脚同時と脚伸は同時に使用できません。
- 最初は「OFF」に設定されています。
- 脚エア「OFF」のとき、脚同時を「ON」にすると、脚エアも「ON」になります。



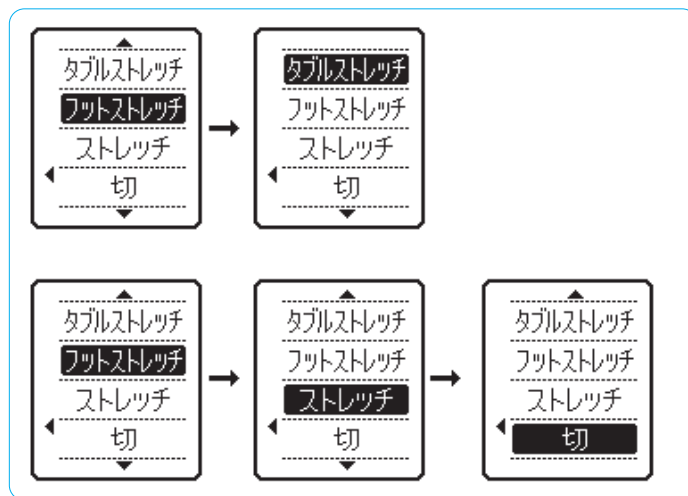
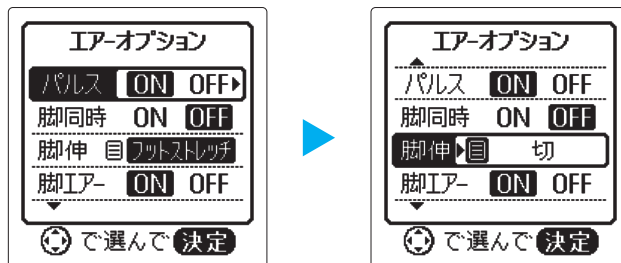
自動コース・クイックモード動作中の調節のしかた

7 「脚伸」を入/切したいとき



メニュー を押して 方向キー で「脚伸」に合わせ、方向キー で詳細画面を表示させ、好みの機能を選択し、決定 を押す。

- 脚部を伸ばし、角度の上がりが少ないときは、脚伸が可能な角度まで上がってから動作を開始します。
- 脚伸と脚同時は同時に使用できません。
- 最初は「ON」に設定されています。
- 脚エア「OFF」のとき、脚伸を設定すると、脚エアも「ON」になります。

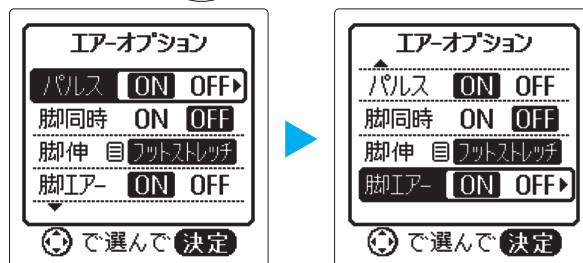


- エア強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 強さの調節は 方向キー で調節できます。
- 伸縮機能は脚部が25°未満では使えません。
- 25°～50°未満の範囲では、角度により脚部の伸びる長さが変わります。

8 「脚エア」を入/切したいとき

メニュー を押して 方向キー で「脚エア」に合わせ、方向キー で「ON/OFF」を選択し、決定 を押す。

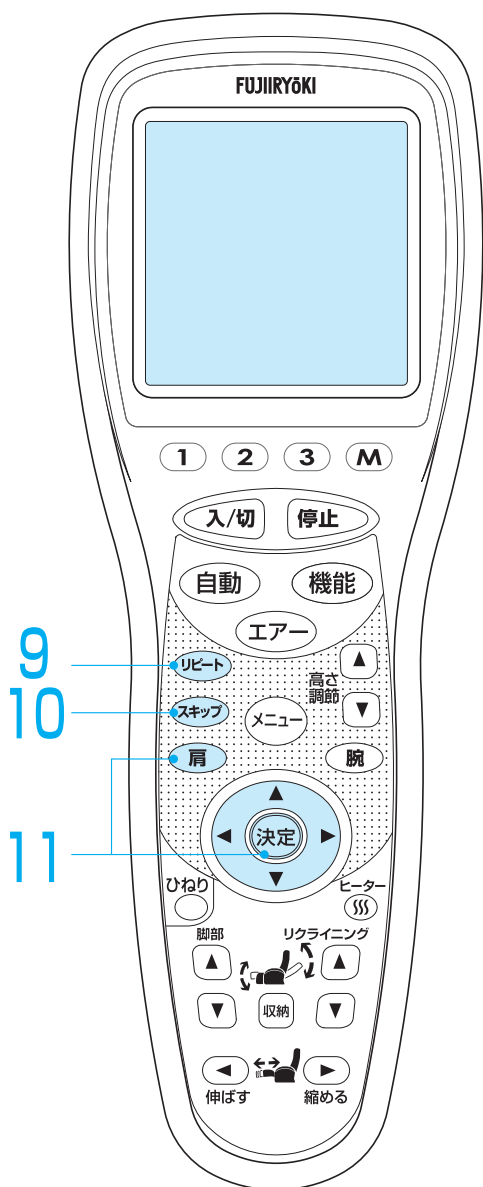
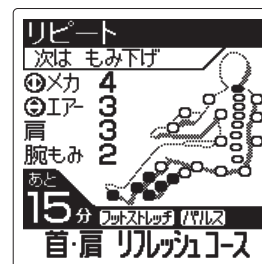
- 最初は「ON」に設定されています。
- 脚エア、脚同時が「ON」のとき、脚エアを「OFF」にすると、脚同時も「OFF」になります。
- 脚エア、脚伸が「ON」のとき、脚エアを「OFF」にすると、脚伸も「切」になります。



9 現在行っているマッサージをもう一度したいとき

リピート を押す。

- 現在行っているマッサージを再度約30秒間続けて行うことができます。
- ※エアーマッサージはリピートできません。
- ※リピート中に再度リピートを押し、さらに約30秒間続けてマッサージを行います。
- ※リピート中にスキップを押すとリピートは解除されます。



10 現在行っているマッサージから次に進みたいとき


スキップ を押す。

- 現在行っているマッサージを中止し、次のマッサージ、部位に移ることができます。
- ※エアーマッサージはスキップできません。

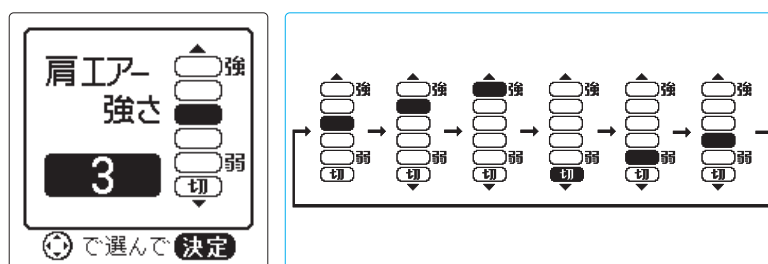


11 肩のエアーマッサージの強さを調節したい・切りたいとき

肩 を一度押してから **肩** を繰り返し押し、調節できます。**決定** を押し、決定します。

- 強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 強さの調節は **肩** を一度押した後、 でも調節できます。

- ※肩のエアーマッサージ動作時は、背のエアーも膨らみます。
- ※肩のエアーマッサージを行うと、もみ玉によるマッサージが強くなる場合があります。
- ※肩のエアーマッサージをするときは、肩が露出した服装はおさげください。



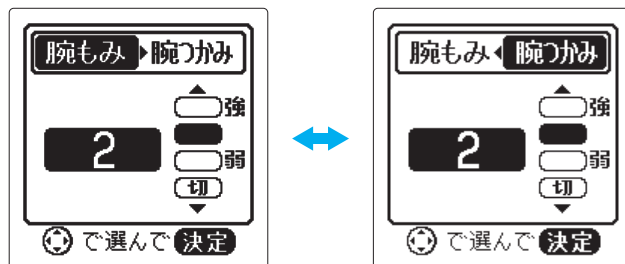
自動コース・クイックモード動作中の調節のしかた

12 腕のエアーマッサージ(腕もみ/腕つかみ)を選択したいとき



腕 を押して で「腕もみ/腕つかみ」を選択し を押す。

- 最初は「腕もみ」に設定されています。
- 選択されている部分は反転表示されています。



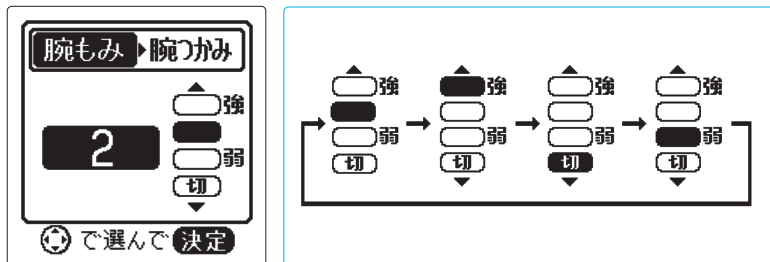
13 腕のエアーマッサージの強さを調節したい・切りたいとき

腕 を一度押してから 腕 を繰り返し押すと調節できます。

を押し、決定します。

- 強さは3段階に調節できます。
- 最初は強さ「2」に設定されています。
- 強さの調節は 腕 を一度押した後 でも調節できます。

※腕のエアーマッサージをするときは、時計、装飾品などの硬いものを装着したまま使用しないでください。



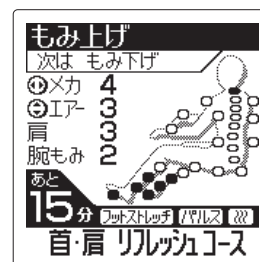
14 「ヒーター」を入/切したいとき

を繰り返し押すことで「ON/OFF」できます。

※ヒーターは、マッサージのタイマーに関係なく、60分で自動的に終了します。

※ヒーター単独でご使用いただけます。

※同一箇所への長時間のご使用はおやめください。(低温やけどのおそれがあります。)



メモリーについて

- あらかじめプログラムされた自動コース内容の変更、登録をすることにより、オリジナルのコースを使用することができます。

メモリー登録できるもの

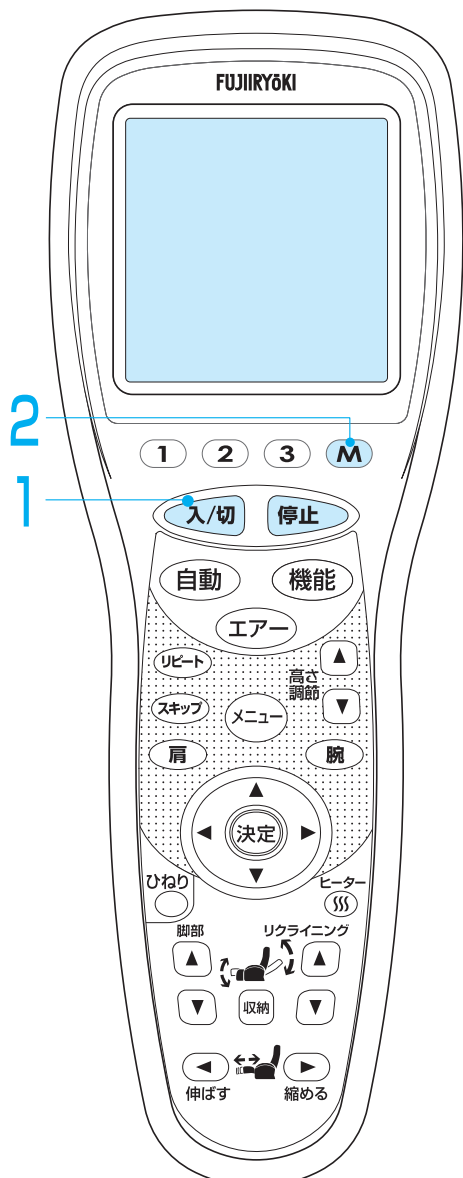
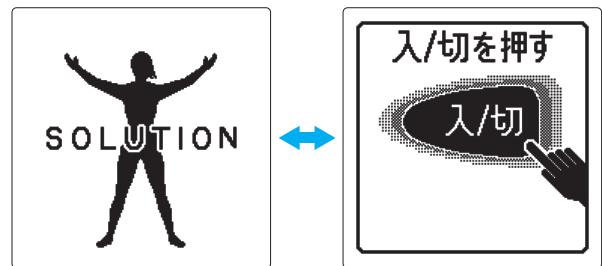
- 体形情報(ポイントナビ、肩位置、腰位置) • スキップ/リピートの選択箇所 • 選択した自動コース
- エアーオプション(パルス、脚同時、ストレッチ/フットストレッチ/ダブルストレッチ、腕もみ/腕つかみ、肩、脚のON/OFF)

注意

- ※ メカ(もみ玉)によるマッサージの強さ、エアーマッサージの強さ、肩/腕のエアーマッサージの強さはメモリー登録されません。ご使用の都度調節してください。
- ※ エアーオプションはコース終了時の状態をメモリー登録します。

はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。



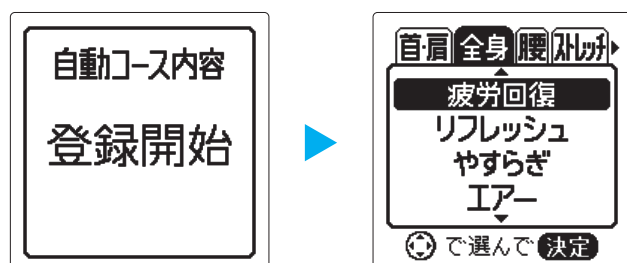
1 「入/切」を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。(途中で止めたいときは「停止」を押します。)
- 待機画面が表示されます。



2 「M」を2秒間長押しする。

- メモリー登録の案内、自動コースの一覧が表示されます。



メモリーの登録のしかた

3 お好みの自動コースを選択し、ご自分に合わせたマッサージを行います。

- 下の内容は使用例を示しています。
分かりやすく説明するため、要点のみ示しています。
自動コースの使い方 (P18~P22)、自動コース・クイックモード動作中の調節のしかた (P26~P30) を参照し、お好みのマッサージを選択してください。

使用例

① 「首・肩」の「リフレッシュ」コースを選択する。



② ポイントナビが完了すると液晶画面に「登録中」と表示されます。



メモリー登録中の表示

③ マッサージの調節をする。

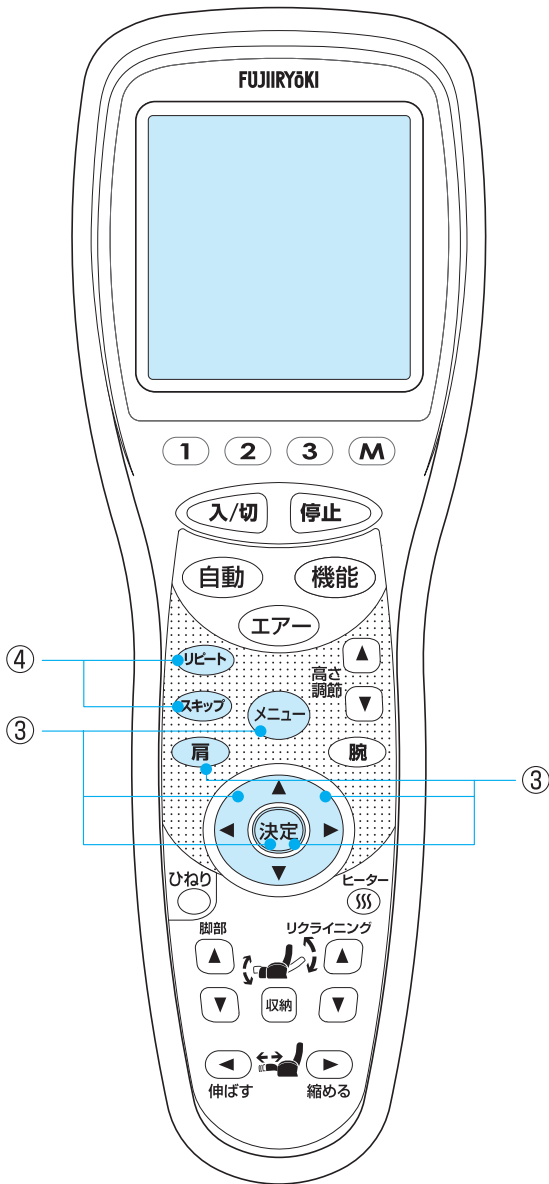
- パルス「ON」→「OFF」
- 脚伸「フットストレッチ」→「切」



- 肩のマッサージ強さ「3」→「切」

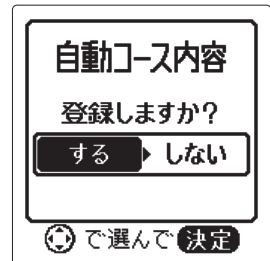


④ マッサージ開始5分後の「3Dたたき」をスキップ、開始9分後の「さざなみ」をリピートする。



4 自動コースが終了したら、メモリー登録の確認画面が表示されます。

で「する/しない」を選択し、決定を押す。



5 「する」を選択すると、登録が始り「登録完了」が表示されれば、登録完了です。

※メモリー登録中は電源を切らないでください。自動コース内容が登録されません。



●登録完了後、クイックモード (P23参照) の M でマッサージを始めると、登録された内容で動作します。

使用例の場合

ご自分の体形情報で登録した動作が始まります。

- 「首・肩」の「リフレッシュ」コース
- メカの強さ「4」
- エアーの強さ「3」
- 肩のマッサージ強さ「切」
- 腕もみのマッサージ強さ「2」
- 脚伸「切」
- パルス「OFF」
- マッサージ開始5分後の「3Dたたき」をスキップ
- マッサージ開始9分後の「さざなみ」をリピート



※メカ(もみ玉)によるマッサージの強さ、エアーの強さはメモリー登録されません。

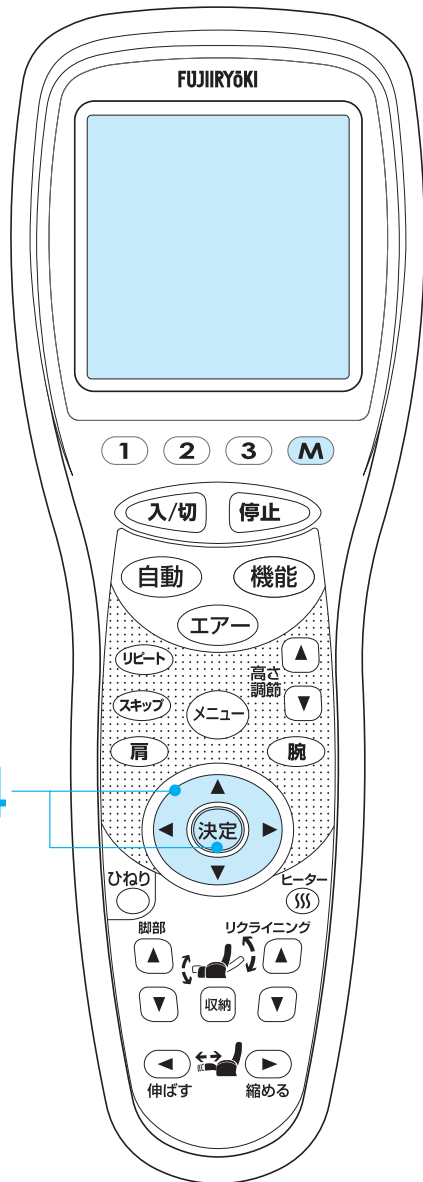
※エアーオプションはコース終了時の状態をメモリー登録します。

6 メモリー登録が終了すると、自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。

●登録したメモリーの内容を変更(上書き)したい時は、P31の最初から行ってください。

●登録したメモリーを消去するときは、その他の機能

(登録したメモリーを消去したいとき) (P56) を参照ください。



ワンポイント!

登録された体形情報、エアーオプション情報でほかの自動コースも選択できます。

マッサージの基本動作

メカ（もみ玉）によるマッサージ

もみ上げ

下から上へ筋肉をもみほぐします。

もみ下げ

上から下へ筋肉をもみほぐします。

深もみ上げ

下から上へ筋肉を深くもみほぐします。

深もみ下げ

上から下へ筋肉を深くもみほぐします。

たたき

リズムカルな連打で筋肉の疲れをとります。

さざなみ

もみながらたたく細かな動きで疲労をやわらげます。

指圧

一箇所を集中してコリをほぐします。

さすり

手のひらでやさしくさするようにマッサージします。

首ほぐし

首筋全体のコリをほぐします。

極もみ

上から肩まわりをじっくりもみほぐします。

極たたき

上から肩まわりをリズムカルな動きで、じっくりマッサージします。

背筋のばし

背筋をのばすように、ローリングします。

腰尻マッサージ

腰を重点的にマッサージします。

腰極もみ

腰まわりをじっくりもみほぐします。

腰極たたき

腰まわりをリズムカルな動きで、じっくりマッサージします。

ストレッチ

下から押し上げ、ストレッチ感覚でマッサージします。

ストレッチもみ上げ

筋肉をもみほぐしながら、下から押し上げます。

ストレッチたたき

リズムカルな連打で筋肉をほぐしながら、下から押し上げます。

ストレッチさざなみ

もみながらたたく細かな動きでもみほぐしながら、下から押し上げます。

3Dもみ上げ

下から上へ筋肉を前後の立体的な動きを加えもみほぐします。

3Dもみ下げ

上から下へ筋肉を前後の立体的な動きを加えもみほぐします。

3Dたたき

リズムカルな連打に前後の立体的な動きを加えマッサージします。

3Dさざなみ

もみながらたたく細かな動きに前後の立体的な動きを加えマッサージします。

エアーによるマッサージ

脚

足裏、足首、ふくらはぎをじっくりマッサージします。

もも・尻

もも・尻を順に裏から押し上げるようにマッサージします。

腰

腰をつつみ込むように、じっくりマッサージします。

背

肩甲骨まわりを押し出すようにマッサージします。

肩

肩まわりをマッサージし、疲れをほぐします。

腕

腕まわりをマッサージし、疲れをほぐします。

パルス

パルスを選ぶとエアーによるマッサージが小刻みに回数多く行われます。

脚同時

ほかのエアーマッサージ部位と同時にふくらはぎがマッサージできます。

脚伸

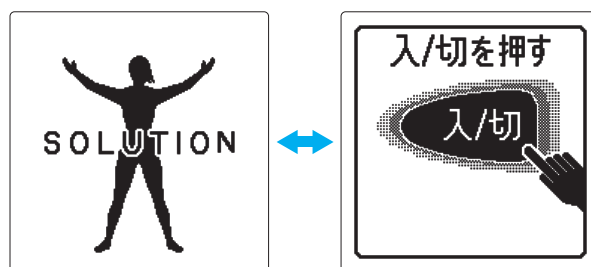
ふくらはぎ・もものエアーが膨らんだ状態で、椅子の脚部が下がるストレッチ感覚のマッサージです。

※脚同時は肩／腕のエアーマッサージとは同時に動作しません。

メカ（もみ玉）によるマッサージ機能の使い方 つづく

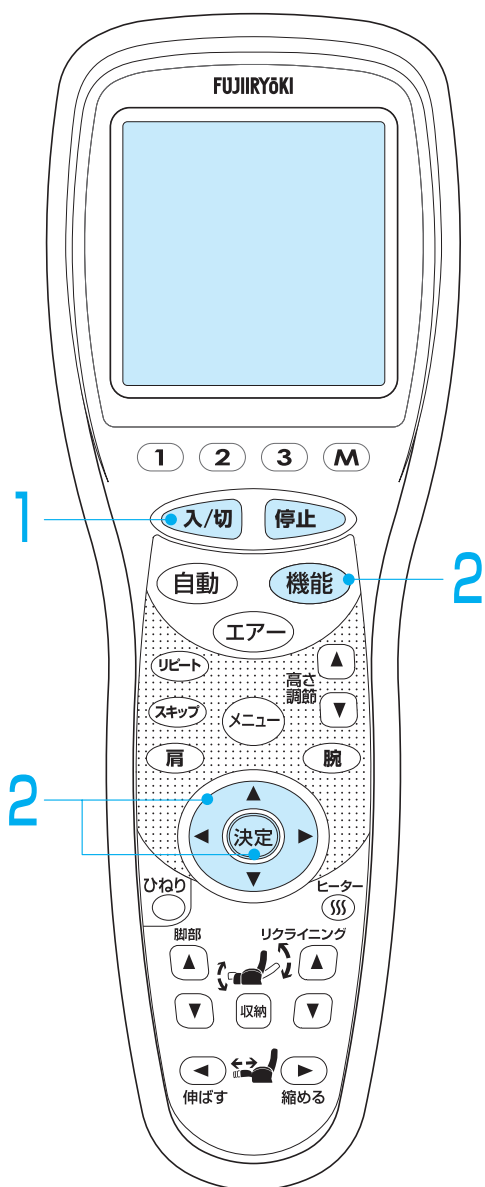
はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- メカによるマッサージからほかのメカによるマッサージへ変更する、自動コース/クイックモードからメカによるマッサージへ変更する場合。（P54参照）
- エアーによるマッサージにメカによるマッサージを複合する場合。（P50参照）



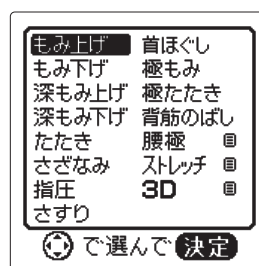
1 入/切 を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。
(途中で止めたいときは **停止** を押します。)
- 待機画面が表示されます。








2 機能 を押す。または 方向キーで「機能」を選択し、決定 を押す。

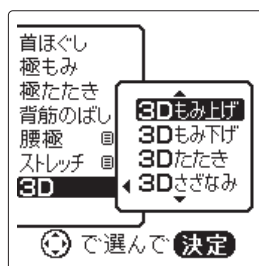
- 機能の一覧が表示されます。
- ※ **決定** を押さなくても5秒後にはスタートします。
(以後も全て同じ。)






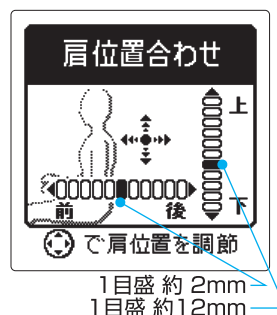
メカ（もみ玉）によるマッサージ機能の使い方



3  または  でお好みの機能を選択し、 を押す。

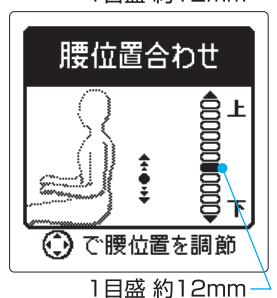
- 「腰極」「ストレッチ」または「3D」を選択する場合は「腰極」「ストレッチ」または「3D」にカーソルを合わせて、 または  を押し、 または  でお好みの機能を選択し、 を押す。



- 3  または高さ調節の  で肩位置の調節、 でもみ玉の前後位置を調節します。
- 「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のばし」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。



- 「腰極もみ」「腰極たたき」を選択したときは、腰位置の設定を行います。
 または高さ調節の  で腰位置の調節をします。

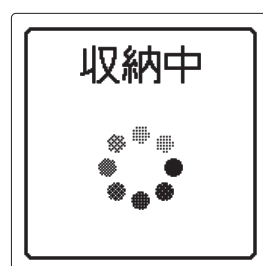


- 「背筋のばし」を選択して、「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「さすり」「ストレッチ」「3D」を選ぶと「背筋のばし」と複合動作になります。

4 選択した機能を開始します。



5 選択したマッサージが終了すると、自動的にもみ玉が収納位置まで戻ります。

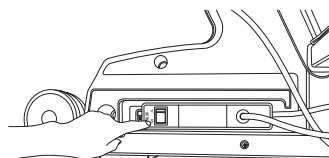


6 使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。

- 誤ってリモコンを操作して動き出すことを防止します。

⚠ 注意

- ご使用後は電源スイッチを切る。
子供のいたずらなどによる事故の原因になります。



ただちにマッサージを停止する場合

停止 を押してください。

- もみ玉は現在の位置を保ったまま停止します。
- 待機画面が表示されます。



途中でマッサージを終了する場合

入/切 を押してください。

- もみ玉は収納位置まで移動します。
- もみ玉が収納された後、初期画面が表示されます。



メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた

1 メカ(もみ玉)によるマッサージの強さを調節したいとき

🔄 を押して調節し、👉 を押す。

- メカ(もみ玉)によるマッサージの強さは7段階に調節できます。
- 最初は強さ「4」に設定されています。
- 「もみ上げ」「もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「背筋のばし」「ストレッチ」動作時のみ設定できます。



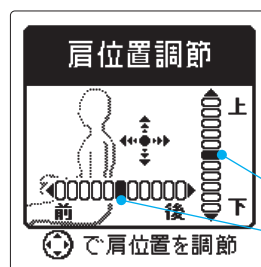
2 マッサージ部位(ポイント/全体/部分)を選択したいとき

👉 を押して 🔄 で「部位」に合わせ、
🔄 で「ポイント/部分/全体」を選択し、
👉 を押す。

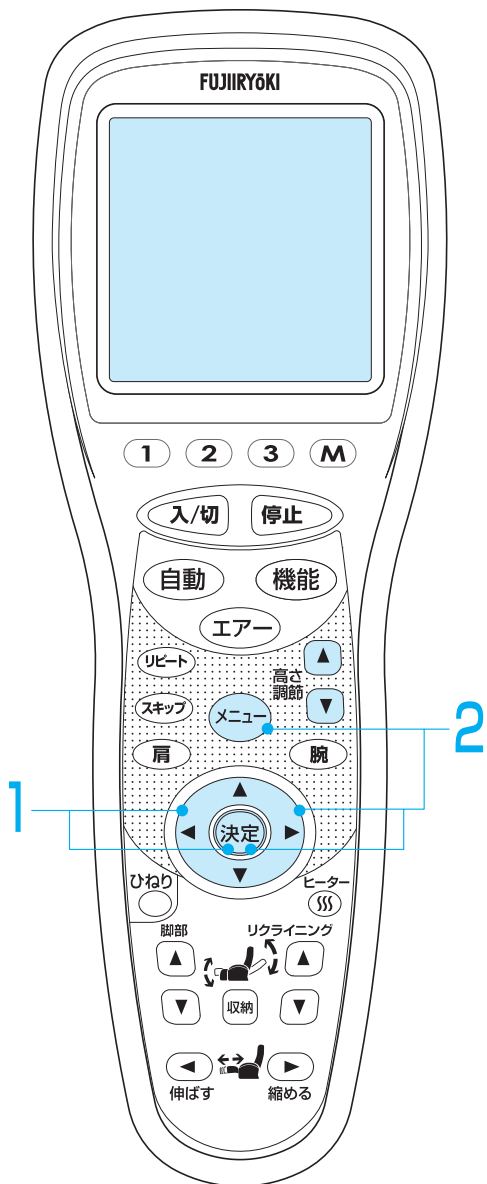


- 「全体」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。

🔄 または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節、🔄 でもみ玉の前後位置を調節します。



※すでに「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のばし」でマッサージを行っていた場合は、肩位置設定を行っているので、設定をする必要はありません。



3 マッサージ部位 (ポイント/部分) の高さを調節したいとき

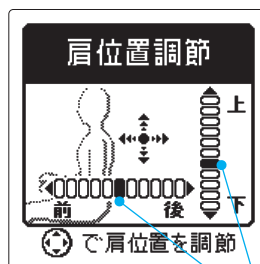
高さ調節の ▲ ▼ を押して調節します。

- マッサージ部位が「ポイント」または「部分」でご使用のとき、調節できます。

4 首ほぐし/極もみ/極たたきの肩、前後位置を調節したいとき

高さ調節の ▲ ▼ を一度押すと調節画面が表示されます。

◀ ▶ または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節、◀ ▶ でもみ玉の前後位置を調節します。



1目盛 約 2mm

1目盛 約 12mm

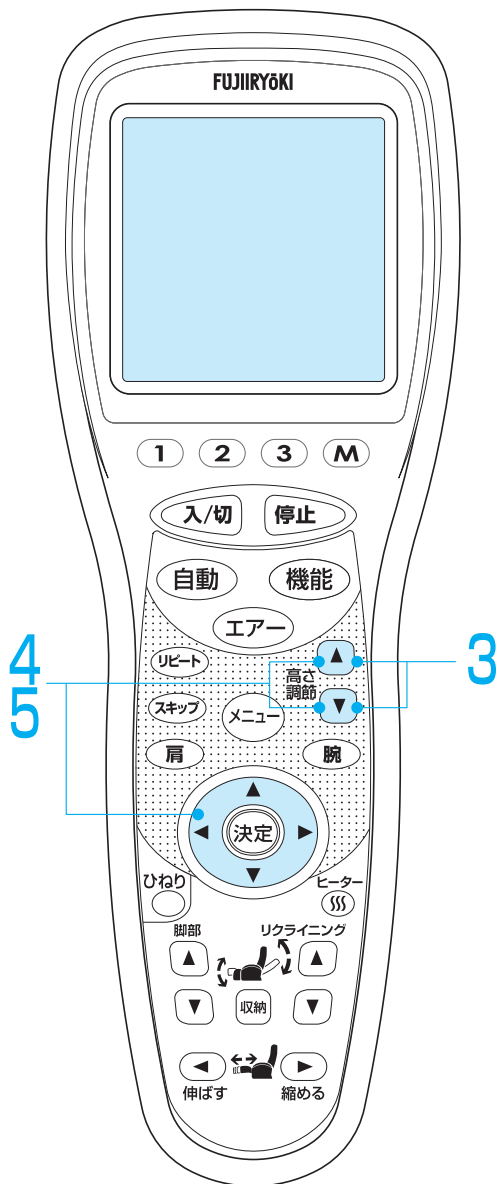
5 腰極もみ/腰極たたきの腰位置を調節したいとき

高さ調節の ▲ ▼ を一度押すと調節画面が表示されます。

◀ ▶ または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節します。



1目盛 約 12mm

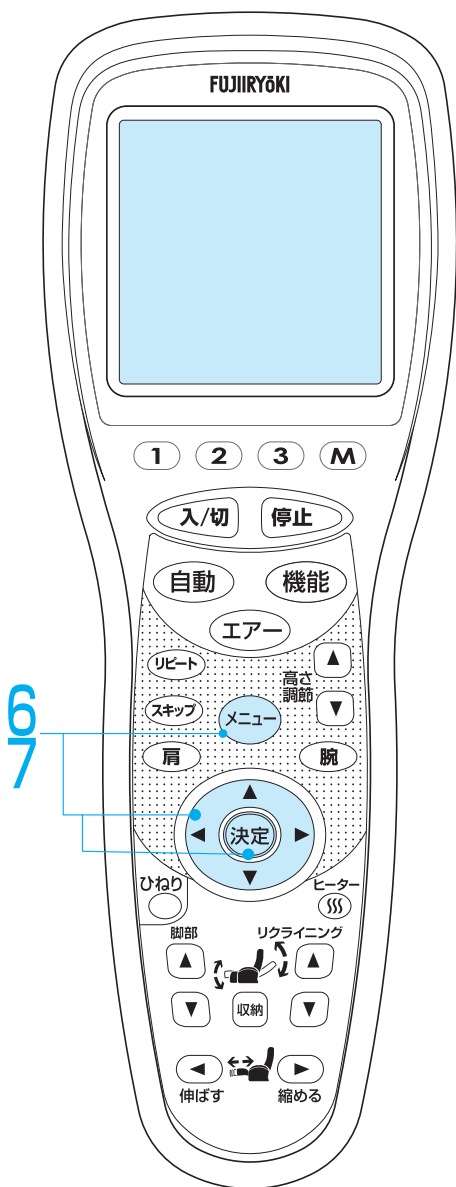


メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた



6 メカ(もみ玉)によるマッサージの速さを調節したいとき

メニューを押して、で「速さ」に合わせ、
で「遅い/速い」を選択し、**決定**を押す。

※ 「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」
 「たたき」「さざなみ」「さすり」「ストレッチもみ上げ」
 「ストレッチたたき」「ストレッチさざなみ」動作時のみ
 設定できます。



7 メカ(もみ玉)によるマッサージの幅を調節したいとき

メニューを押して、で「幅」に合わせ、
で「せまい/ふつう/ひろい」を選択し、**決定**を押す。

※ 「たたき」「指圧」「背筋のぼし」
 「ストレッチ」「ストレッチたたき」「3Dたたき」
 動作時のみ設定できます。



エアーによるマッサージ機能の使い方

はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- エアーによるマッサージからほかのエアーによるマッサージへ変更する、自動コース/クイックモードからエアーによるマッサージへ変更する場合。(P55参照)
- メカによるマッサージにエアーによるマッサージを複合する場合。(P48参照)



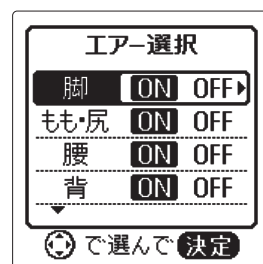
1 入/切 を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。
(途中で止めたいときは 停止 を押します。)
- 待機画面が表示されます。



2 エアー を押す。または 決定 で「エアー」を選択し、決定 を押す。

- 機能の一覧が表示されます。
- ※ 決定 を押さなくても5秒後にはスタートします。
(以後も全て同じ。)



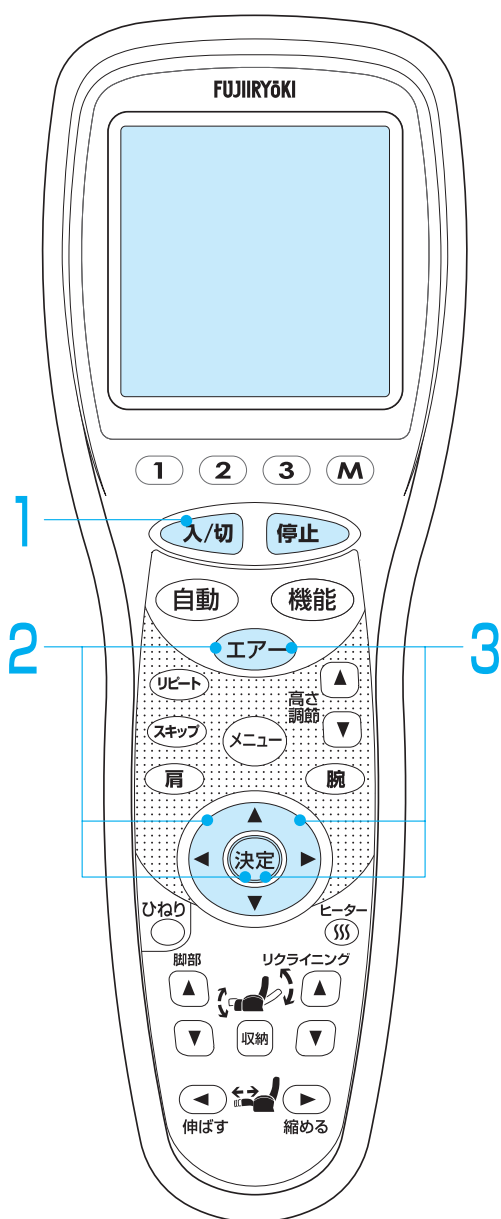
3 または エアー で好みの機能を選択し、決定 を押す。

- 最初はすべて「ON」に設定されています。



もも・尻を選んでOFFにした例

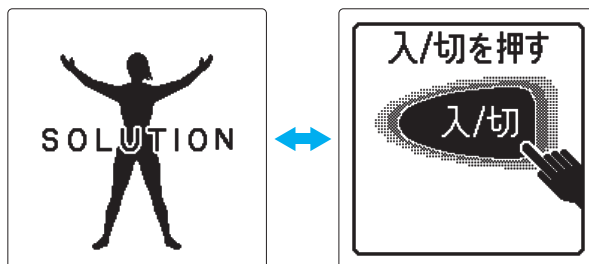
4 選択した機能を開始します。



ひねりによるマッサージ機能の使い方

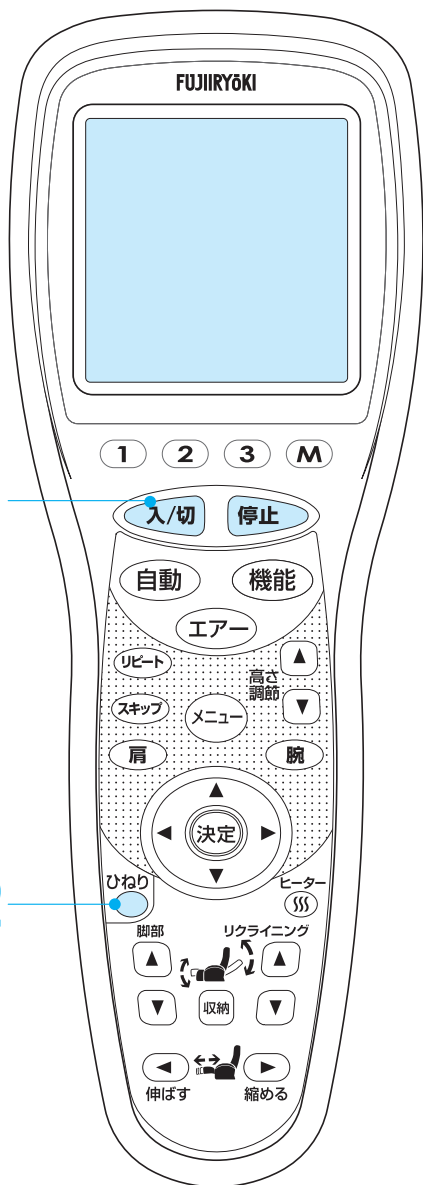
はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- メカによるマッサージ、エアーによるひねりを複合する場合。(P49参照)
- 自動コース中は「ひねり」を押しても動作しません。



1 入/切 を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。
(途中で止めたいときは 停止 を押します。)



2 ひねり を押す。

- 液晶画面が表示されて動作が開始します。



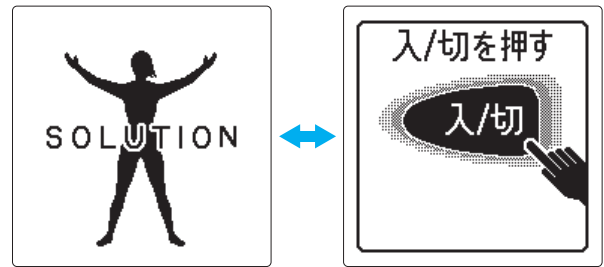
- マッサージを止めたいときは ひねり を押します。



ヒーター機能の使い方

はじめに

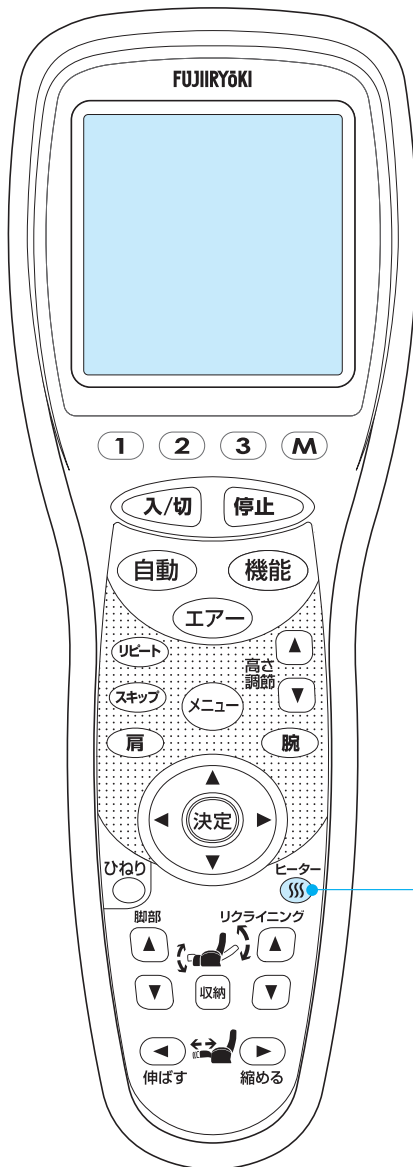
- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。



1 ヒーター機能を使用したいとき

☺☺☺ を繰り返し押すことで「ON/OFF」できます。

※初期状態、待機画面で ☺☺☺ を押すとヒーター単独でご使用いただけます。



初期状態でONした例



待機画面でONした例

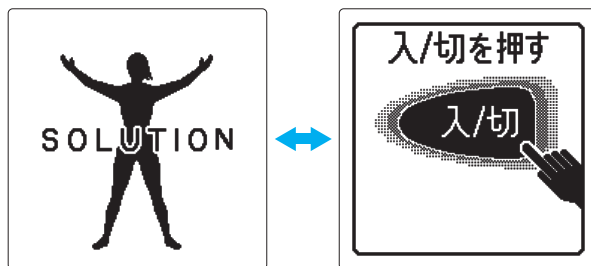
※ヒーターは、マッサージのタイマーに関係なく、60分で自動的に終了します。

※同一箇所への長時間のご使用はおやめください。
(低温やけどのおそれがあります。)

肩/腕のエアーマッサージ機能の使い方

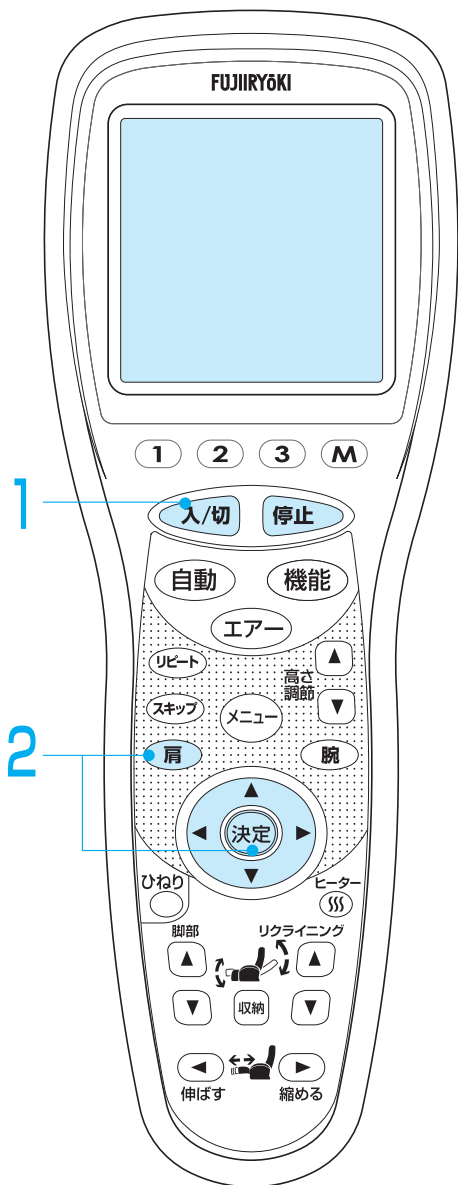
はじめに

- 電源投入後、初期状態の液晶表示部には右の画面が交互に表示されます。
- メカによるマッサージ、エアーによるマッサージに肩/腕のエアーマッサージを複合する場合。(P49参照)



1 入/切 を押します。

- スタンバイ位置まで自動で脚部が上がります。(途中で止めたいときは **停止** を押します。)
- 待機画面が表示されます。



2 肩のエアーマッサージをしたいとき

● **肩** を一度押してから **肩** を繰り返し押すと選択、強さの調節ができます。

● **決定** を押し、決定します。

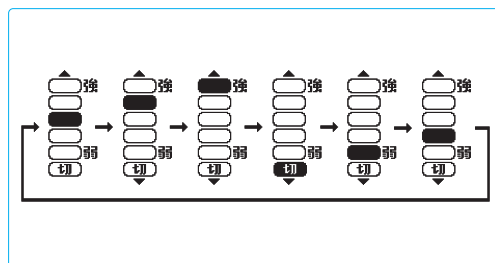
※ **決定** を押さなくても5秒後にはスタートします。(以後も全て同じ。)

- 強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 強さの調節は **肩** を一度押した後、 でも調節できます。

※ 肩のエアーマッサージ動作時は、背のエアーも膨らみます。

※ 肩のエアーマッサージを行うと、もみ玉によるマッサージが強くなる場合があります。

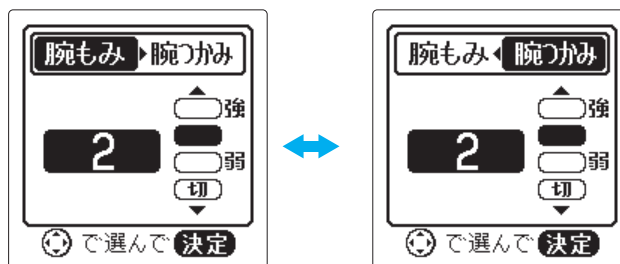
※ 肩のエアーマッサージをするときは、肩が露出した服装は おさげください。



3 腕のエアーマッサージ(腕もみ/腕つかみ)を選択したいとき


腕 を押して  で「腕もみ/腕つかみ」を選択し 決定 を押す。

- 最初は「腕もみ」に設定されています。
- 選択されている部分は反転表示されています。

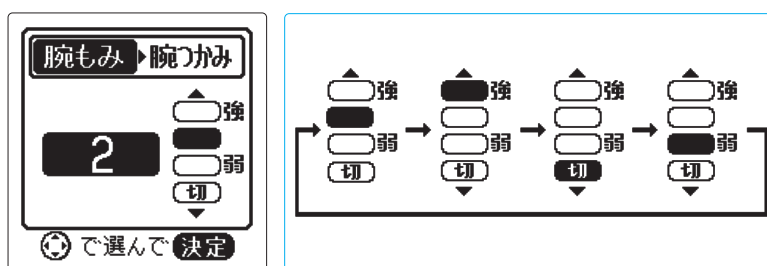


4 腕のエアーマッサージの強さを調節したい・切りたいとき

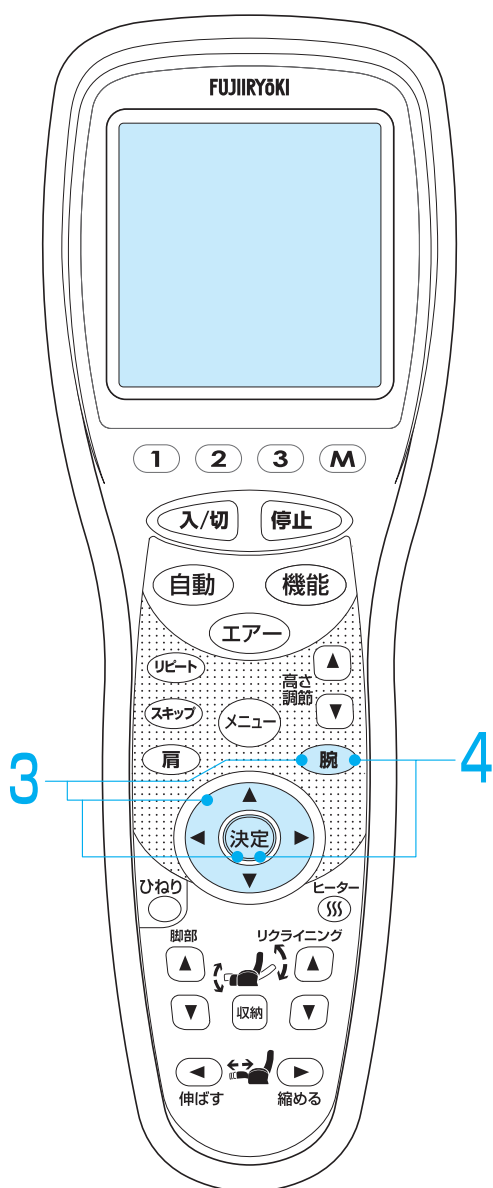
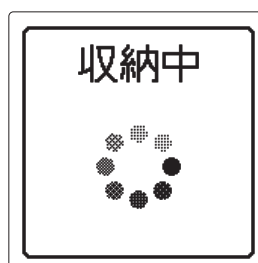
腕 を一度押してから 腕 を繰り返し押すと調節できます。決定 を押し、決定します。

- 強さは3段階に調節できます。
- 最初は強さ「2」に設定されています。
- 強さの調節は 腕 を一度押した後、 でも調節できます。

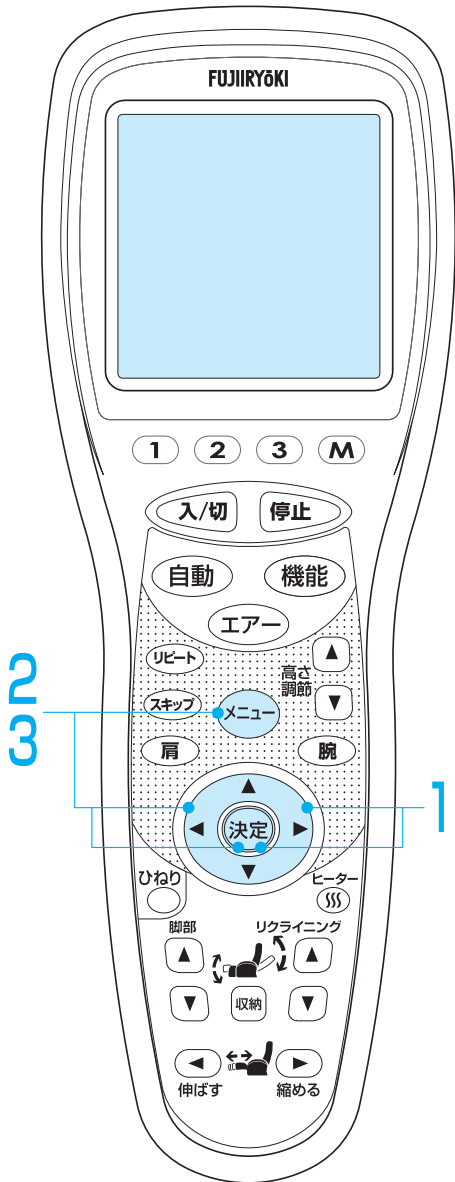
※腕のエアーマッサージをするときは、時計、装飾品などの硬いものを装着したまま使用しないでください。



5 選択した機能が終了すると、収納中の表示がされます。



エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた



1 エアーによるマッサージの強さを調節したいとき

を押して調節し、
 を押す。

- エアーの強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。



2 「パルス」を入/切したいとき

を押して で
「パルス」に合わせ、
 で「ON/OFF」を
選択し、 を押す。

- 最初は「OFF」に設定されています。



3 「脚同時」を入/切したいとき

を押して で「脚同時」に合わせ、
 で「ON/OFF」を選択し、 を押す。

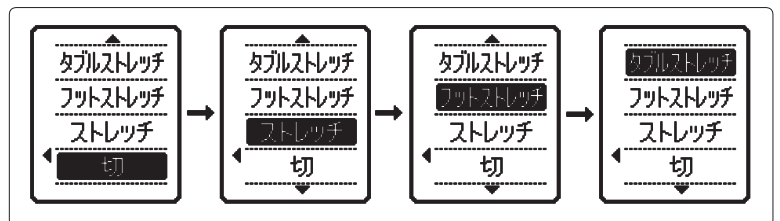
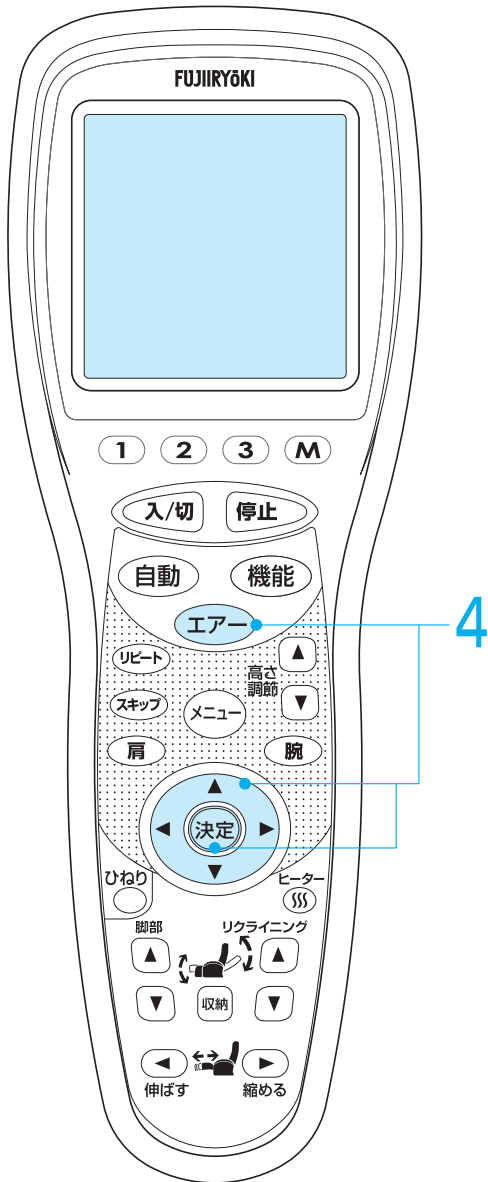
- 脚同時と脚伸は同時に使用できません。
- 最初は「OFF」に設定されています。
- 脚エアー「OFF」のとき、脚同時を「ON」にすると、脚エアーも「ON」になります。



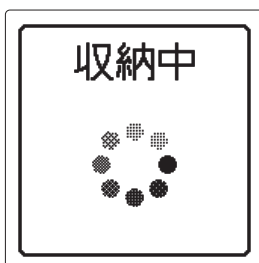
4 脚伸のエアーマッサージをしたいとき

メニューを押してで「脚伸」に合わせ、で詳細画面表示させ、お好みの機能を選択し、決定を押す。

- 脚部を伸ばし、角度の上がりが少ないときは、脚伸が可能な角度まで上がってから動作を開始します。
- 脚伸と脚同時は同時に使用できません。
- 最初は「切」に設定されています。
- 脚エアー「OFF」のとき、脚伸を設定すると、脚エアーも「ON」になります。
- エアー強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 強さの調節はで調節できます。
- 伸縮機能は脚部が25°未満では使えません。
- 25°～50°未満の範囲では、角度により脚部の伸びる長さが変わります。

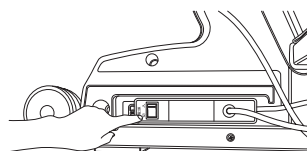


5 選択したマッサージが終了すると、収納中の表示がされます。



6 使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。

- 誤ってリモコンを操作して動き出すことを防止します。



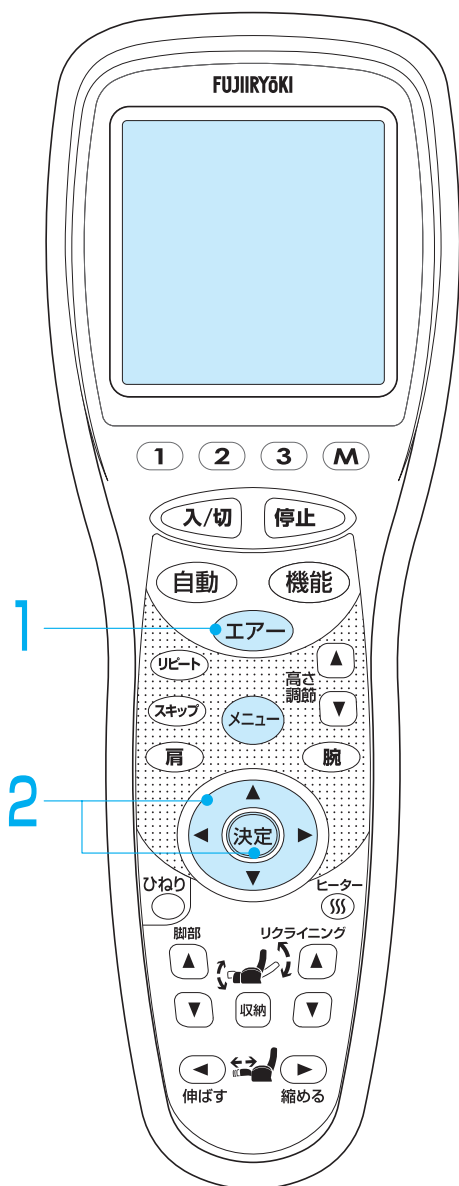
注意

ご使用後は電源スイッチを切る。
子供のいたずらなどによる事故の原因になります。

メカ（もみ玉）とエアーの複合マッサージのしかた

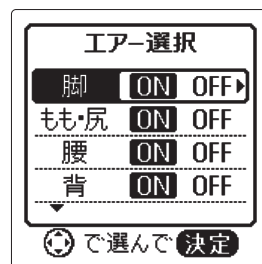
メカ（もみ玉）によるマッサージ機能動作中にエアーによるマッサージを複合したいとき

脚/もも・尻/腰/背のエアーマッサージを複合する場合



1 エアー を押す。

- 機能の一覧が表示されます。



2 でお好みの機能を選択し、で「ON/OFF」を選択し、決定を押す。

- 最初はすべて「ON」に設定されています。



もも・尻を選んでOFFにした例

3 選択した機能を開始します。



- マッサージ機能を調節する場合は、各マッサージの調節のしかたを参照ください。
メカ（もみ玉）によるマッサージ機能動作中の調節のしかた。（P38参照）
エアーによるマッサージ機能動作中の調節のしかた。（P46参照）


※ 複合マッサージ中にメニューを押して、機能の調節を行うときの表示は右のようになります。



メカ（もみ玉）/エア-によるマッサージ機能動作中に 肩/腕/ひねりのエア-マッサージを複合したいとき

肩のエア-マッサージを複合する場合

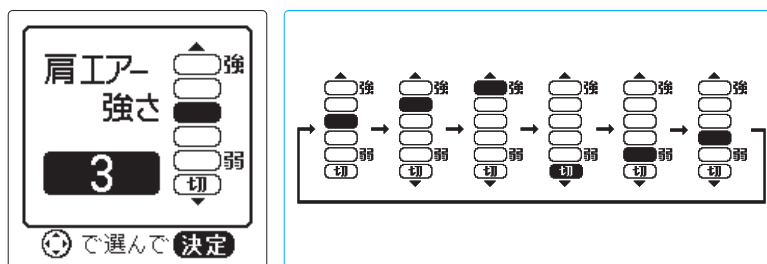
- 1 **肩** を一度押してから **肩** を繰り返し
押すと選択、強さの調節ができます。
決定 を押し、決定します。

- 強さは5段階に調節できます。
- 最初は強さ「3」に設定されています。
- 強さの調節は **肩** を一度押した後、 でも調節
できます。


※肩のエア-マッサージ動作時は、背のエア-も膨らみます。

※肩のエア-マッサージを行うと、もみ玉によるマッサージが強くなる場合があります。


※肩のエア-マッサージをするときは、肩が露出した服装は
おさげください。



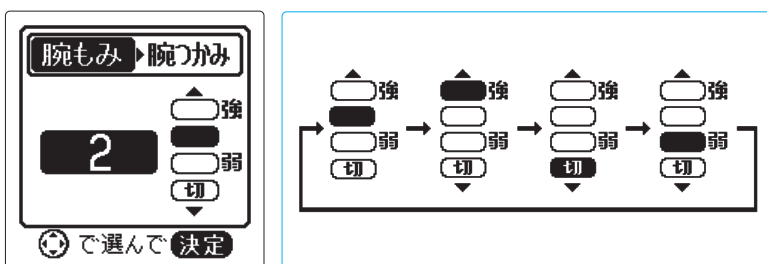
腕のエア-マッサージを複合する場合

- 2 **腕** を一度押してから  で「腕もみ/
腕つかみ」の選択ができ、**腕** を繰り返し
し押すと強さの調節ができます。

決定 を押し、決定します。

- 強さは3段階に調節できます。
- 最初は「腕もみ」、強さ「2」に設定されています。
- 強さの調節は **腕** を一度押した後、 でも調節
できます。

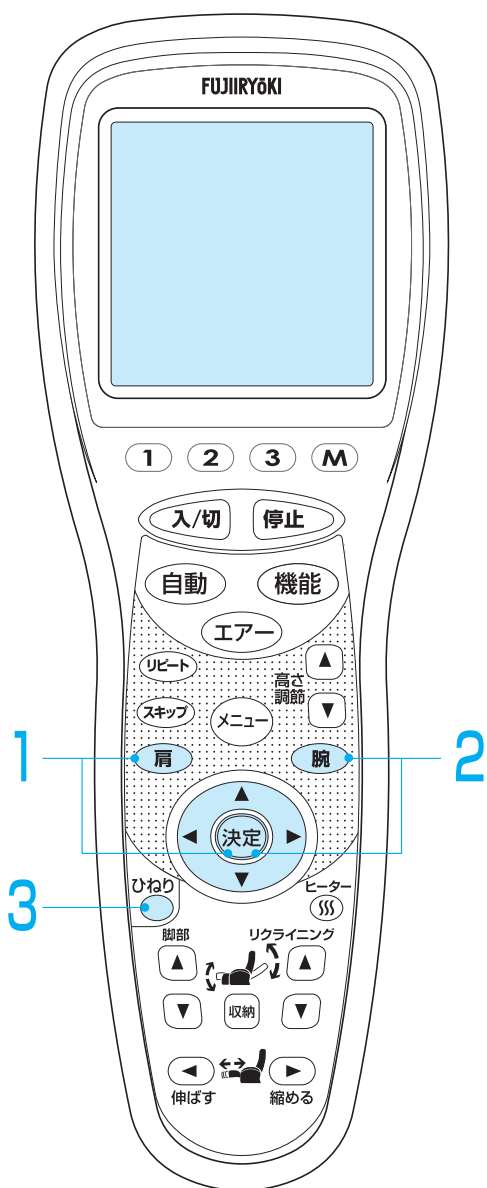
※腕のエア-マッサージをするときは、時計・装飾品など
の硬いものを装着したまま使用しないでください。



ひねりのエア-マッサージを複合する場合

- 3 **ひねり** を押す。

※腰尻のマッサージをするときは、ひねりはできません。



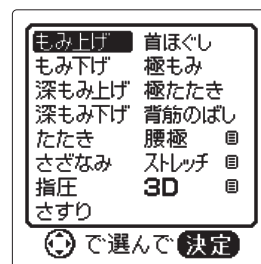
メカ（もみ玉）とエアーの複合マッサージのしかた

エアーによるマッサージ機能動作中に
メカ（もみ玉）によるマッサージを複合したいとき





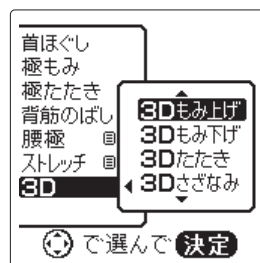
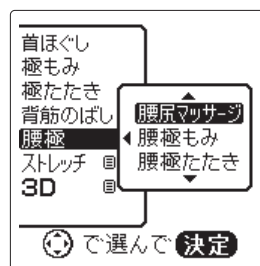
1 **機能** を押す。

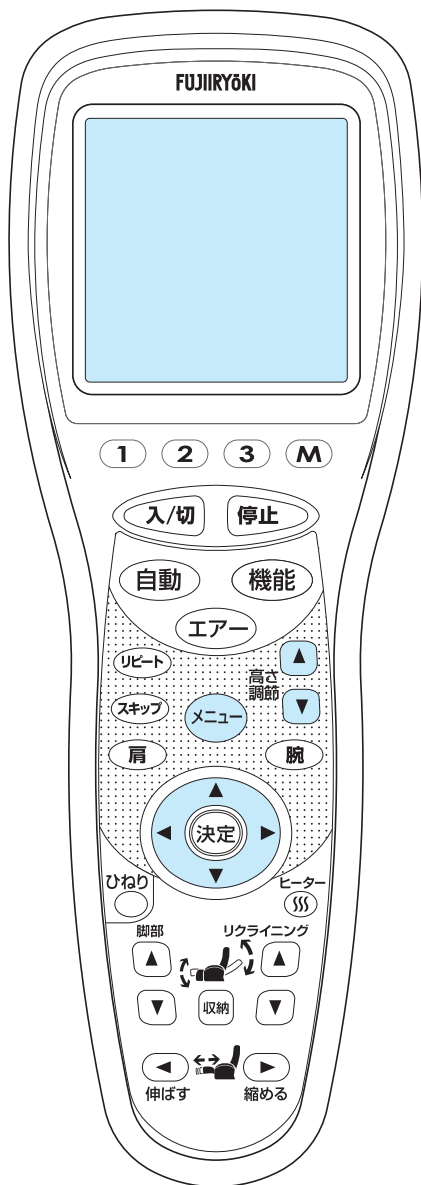
- 機能の一覧が表示されます。



2 **機能** または **機能** で好みの機能を選択し、**決定** を押す。

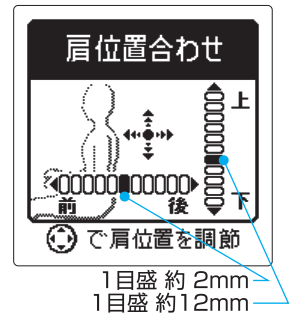
- 「腰極」「ストレッチ」または「3D」を選択する場合は「腰極」「ストレッチ」または「3D」にカーソルを合せて、
 または **決定** を押し、
 または **機能** で好みの機能を選択し、**決定** を押す。





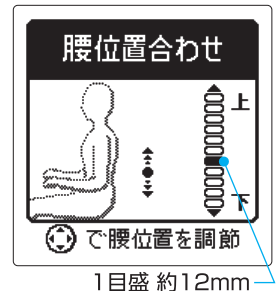
- 「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」「背筋のぼし」を選択したときは、まず最初に肩位置の設定を行います。このとき、もみ玉の前後の位置も設定できますが、「首ほぐし」「極もみ」「極たたき」を選択したときのみ有効です。

◀▶ または高さ調節の ▲ ▼ で肩位置の調節、◀▶でもみ玉の前後位置を調節します。



- 「腰極もみ」「腰極たたき」を選択したときは、腰位置の設定を行います。

◀▶ または高さ調節の ▲ ▼ で腰位置の調節をします。



- 「背筋のぼし」を選択して、「もみ上げ」「もみ下げ」「深もみ上げ」「深もみ下げ」「たたき」「さざなみ」「指圧」「さすり」「ストレッチ」「3D」を選ぶと「背筋のぼし」と複合動作になります。

3 選択した機能を開始します。



- マッサージ機能を調節する場合は、各マッサージの調節のしかたを参照ください。
メカ(もみ玉)によるマッサージ機能動作中の調節のしかた。(P38参照)
エア-によるマッサージ機能動作中の調節のしかた。(P46参照)

※ 複合マッサージ中に **メニュー** を押して、機能の調節を行うときの表示は右のようになります。

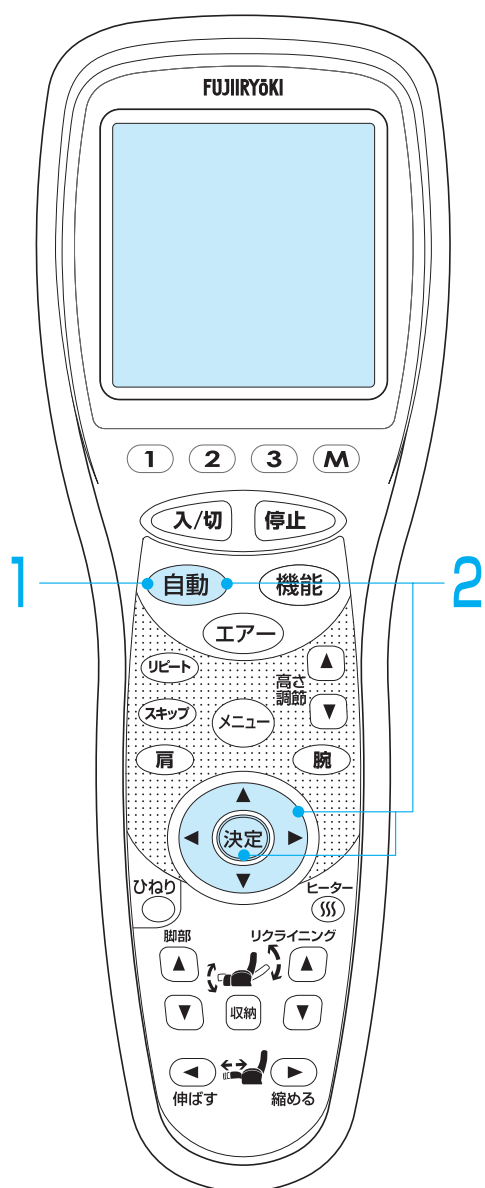


途中でマッサージを変更するときは

- 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

自動コース▶ほかの自動コースへの変更

自動コース以外のマッサージ▶自動コースへの変更



1 **自動** を押す。

- 自動コースの一覧が表示されます。



2  または **自動** で好みのコースを選択し、**決定** を押す。



- このときタイマーはリセットされ、さらに15分間作動します。

※但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

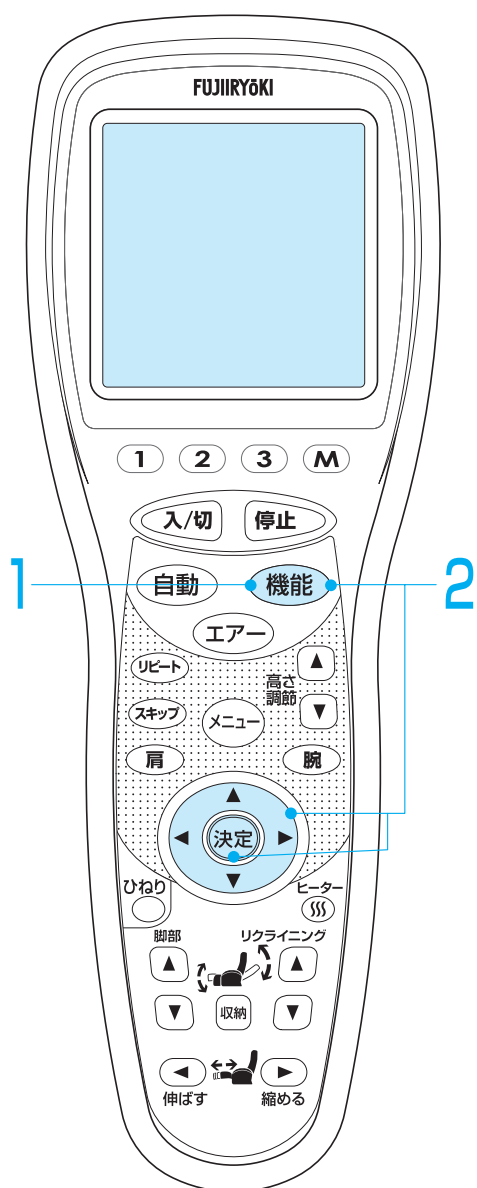
途中でマッサージを変更するときは

- 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

メカ (もみ玉) によるマッサージ ▶ ほかのメカ (もみ玉) によるマッサージへの変更

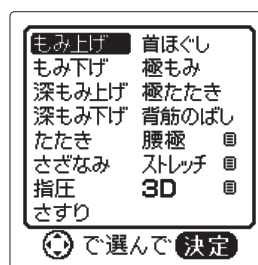
自動コース ▶ メカ (もみ玉) によるマッサージへの変更

クイックモード ▶ メカ (もみ玉) によるマッサージへの変更



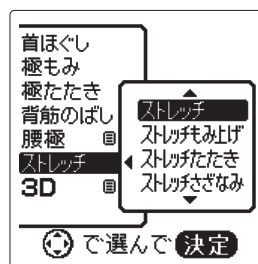
1 機能 を押す。

- 機能の一覧が表示されます。



2 または 機能 でお好みの機能を選択し、決定 を押す。

- 詳細はメカ (もみ玉) によるマッサージ機能の使い方 (P35参照) を確認ください。



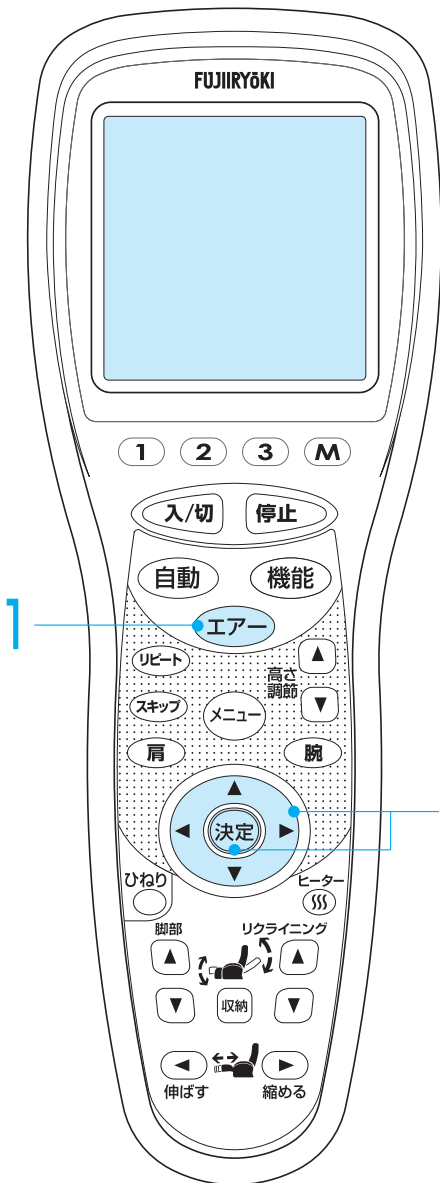
- メカ (もみ玉) によるマッサージからほかのメカ (もみ玉) によるマッサージへ変更した場合、タイマーは継続されます。
 - 自動コースからメカ (もみ玉) によるマッサージへ変更、クイックモードからメカ (もみ玉) によるマッサージへ変更した場合、タイマーはリセットされ、さらに15分間作動します。
- ※ 但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

- 自動コースの途中でも、コース終了まで待つことなく、ほかの動作に切り替えられます。

エア-によるマッサージ ▶ ほかのエア-によるマッサージへの変更

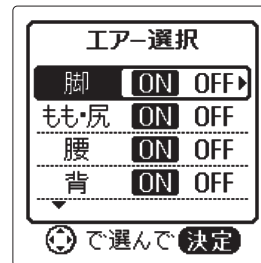
自動コース ▶ エア-によるマッサージへの変更

クイックモード ▶ エア-によるマッサージへの変更



1 エア- を押す。

- 機能の一覧が表示されます。



2 2 でお好みの機能を選択し、で「ON/OFF」を選択し、決定を押す。

- 最初はすべて「ON」に設定されています。

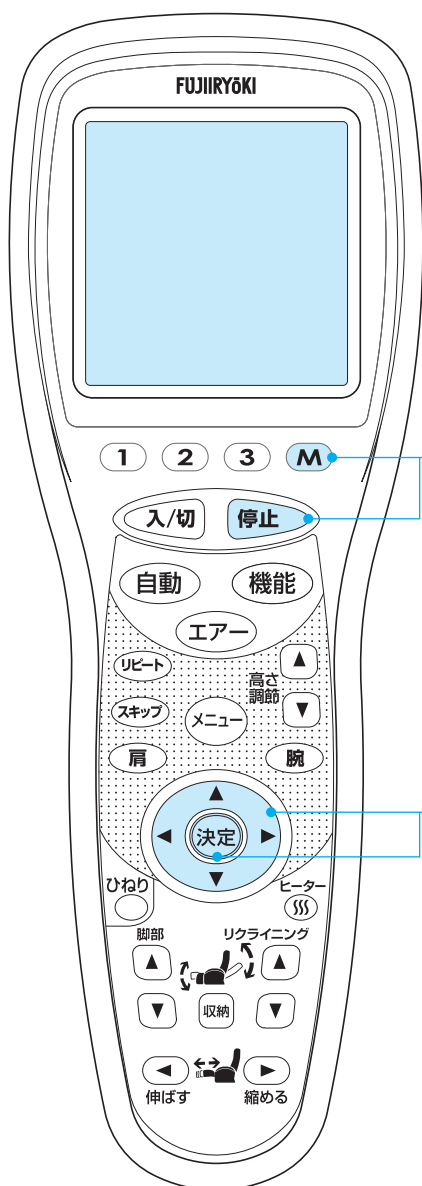
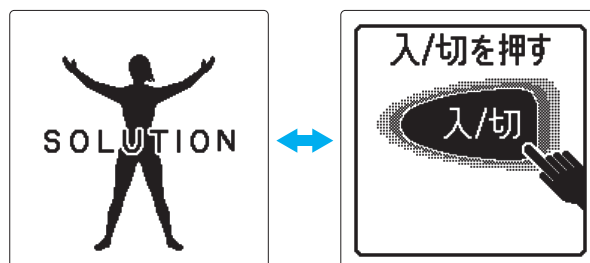


- エア-によるマッサージからほかのエア-によるマッサージへ変更した場合、タイマーは継続されます。
 - 自動コースからエア-によるマッサージへ変更、クイックモードからエア-によるマッサージへ変更した場合、タイマーはリセットされ、さらに15分間作動します。
- ※但し、マッサージ開始後、連続で最大30分になると、停止します。

その他の機能

はじめに

電源投入後の初期状態では、液晶表示部に下の画面が交互に表示されます。



1 登録したメモリーを消去したいとき

- ① 初期状態で、**停止** と **M** を同時に2秒間長押しする。
メモリー消去確認画面が表示されます。



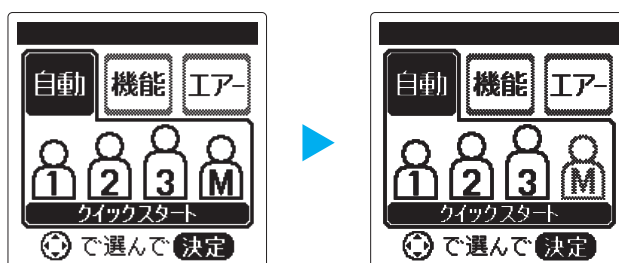
- ② **決定** で「する/しない」を選択し、**決定** を押す。

- ③ 「する」を選択すると、消去が始められ、「消去完了」が表示されれば、消去完了です。

※メモリー消去中は電源を切らないでください。完全に消去されません。



※メモリーが消去されていると待機画面の「M」の人のマークが薄くなります。



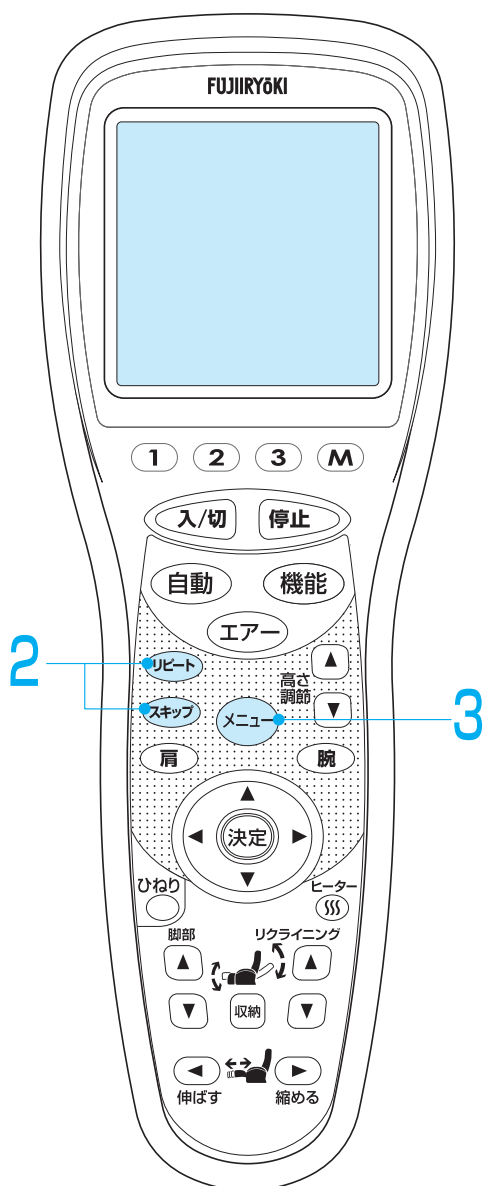
2 チャイルドロックしたいとき

- 「チャイルドロック」機能は、子供が誤って操作を行わないようにするために、ボタン受付を無効にする機能です。

①初期状態で、**リピート** と **スキップ** を同時に2秒間長押しする。

「ピーツ」とブザーが鳴り、チャイルドロック画面が表示されます。

- チャイルドロック中は常に表示しています。
- チャイルドロックを解除するときは、同じ作業を行うか電源スイッチを切ってください。

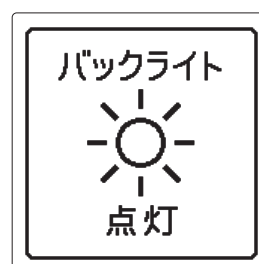


3 バックライトを点灯したいとき

- 「バックライト」機能は、周りが暗く画面が見にくいときに液晶表示部にバックライトを点灯する機能です。

①初期状態で、**メニュー** を2秒間長押しする。
「ピツ」とブザーが鳴り、バックライト画面が表示されます。

- バックライトを消灯するときは、同じ作業を行うか、電源スイッチを切ってください。



お手入れと保管のしかた

本体：張地・背パット・枕・座・ヒーターパット（本革・PVCレザー）

お願い 皮革部分のお手入れは、擦らずに掃除機で吸い取るまたは、皮革用クリーナーをお使いください。（クリーナーで汚れを落とす際には、擦らずに泡で洗い流すようにしてください。）
レザー部分のお手入れは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、水を含ませた布でふきとり、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。（使い過ぎるとレザー地をいためることがあります。）
塗装部分は乾いた布でふいてください。

お願い 機器は清潔にし、温度・湿気・ほこりなどの悪影響が少ない所に保管してください。

⚠ 注意



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で抜き差ししない。
感電やけがのおそれがあります。

⚠ 注意



ベンジン、シンナー、アルコールでふいたり、殺虫剤をかけない。
感電・引火の原因になります。

本体

プラスチック、パイプ、肘掛部の汚れは中性洗剤を浸し、固く絞った布でふき取り、洗剤が残らないように乾いた布でよくふき取ってください。
※塗装部分は乾いた布でふいてください。

注意



ベンジン、シンナー、アルコール、その他の溶剤やみがき粉などは使用しないでください。
キズ、変色、ひび割れの原因になります。

リモコン

リモコンの汚れは、乾いた布でふき取ってください。

注意



絶対に濡れたタオルなどでふかないでください。故障の原因になります。

背パット・枕・座・ヒーターパット その他布地

皮革部分のお手入れは、擦らずに掃除機で吸い取るまたは、皮革用クリーナーをお使いください。（クリーナーで汚れを落とす際には、擦らずに泡で洗い流すようにしてください。）
汚れが付いたときは、中性洗剤を含ませた布でふいた後、水を含ませた布でふきとり、乾いた布でふいて自然乾燥させてください。

注意



アイロンがけはしないでください。

保管のしかた

汚れやホコリを取った後、湿気の少ない所に保管してください。

長い間で使用にならないときは、カバーなどをかけてホコリが付かないようにしてください。

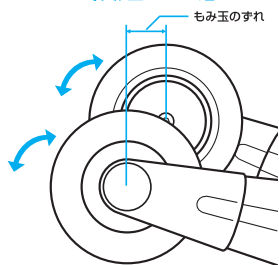
注意



直射日光が長時間当たる所、ストーブなどの近くの高温になる所には保管しないでください。
変色・変質の原因になります。

Q1 左右の強さが異なる。また、段違いに感じる。

A より気持ちよくマッサージするために、もみ玉が交互にたたく機構を採用している関係で、やむをえずもみ玉の位置がずれて動作することがあります。そのため左右で強さが異なって感じるがありますが、故障ではありません。



Q2 より強くマッサージする方法はありますか？

A 次のことを試してください。

- 背もたれを倒す。
- 背パットをはずす。
- 深く腰かけ、体をしっかりと背もたれに密着させる。
- マッサージの強さを調節する。

Q3 リモコンスタンドがぐらぐらするのですが？

A 固定ネジをしめなおしてください。リモコンホルダー部がはずれた場合は、固定ネジをゆるめてからはめこみ、再度固定ネジをしめてください。また、スタンドの取付ネジも確認し、ゆるんでいる場合は、付属のリモコンスタンド用六角レンチでしめなおしてください。

Q4 脚部に足がうまくフィットしないのですが？

A 脚部を伸縮して、調節してください。

- 背の低い人…背もたれを起こして、脚部を上げる。

Q5 病院に通院しているけど、使ってもだいじょうぶ？

A 通院先の医師と相談のうえ、使用してください。マッサージは、「触圧刺激」といって、筋肉に圧力をかけてほぐし、血行を促進する行為です。病気によっては、悪化を招く可能性もありますので、必ず医師に相談してください。

Q6 1ヶ月の電気代はいくらですか？

A 1日30分（15分×2回）で毎日使用した場合で約40円/月です。（税込み）
ヒーターを1日1時間毎日使用した場合で約40円/月です。（税込み）
（2008年10月現在、当社調べ）

Q7 ホットカーペットを椅子の下に敷いてもいいですか？

A 火災のおそれがあるので、おやめください。ホットカーペットの発熱体を痛め、そこから火災になるおそれがあります。

Q8 脚部が自動的にスタンバイ位置にいかないのですが？

A 脚部が50°より上がっているときは、**入/切** を押してもスタンバイ位置にはいきません。

Q9 身長が約150cm未満の人や、約185cm以上の人は使えないのですか？

A お使いいただけます。体形検出の際、肩位置微調節をしても肩位置が合わない場合がありますので、以下の方法でご使用することをおすすめします。

- 背の低い人…背もたれを起こして、脚部を上げる。
- 背の高い人…背もたれを倒して、脚部を下げる。

Q10 腕ユニットに腕がとどかないのですが？

A 背もたれを起こし、腕の位置を調節してください。

Q11 肩・腕エアーマッサージの後、肩や腕が赤くなるのですが？

A 使用後、肩や腕にマッサージの跡が残る場合があります。これは施療によるものです。時間とともに消えていきます。また、肩エアーマッサージを行う場合は、肩が露出した服装はおさげください。

Q12 体形検出をしても肩位置が合わない。

A 体形検出後、所定の肩位置にもみ玉は移動します。所定の肩位置が合わない場合は、肩位置微調節をしてください。

Q13 肩ユニット・腕ユニットを外した状態で使用できますか？

A できません。エアー給排気口が露出し、ゴミ・埃が入り故障の原因になります。

Q14 ダブルストレッチ、フットストレッチをすると、時々「ガタン」と音がするのですが？

A 音が発生する場合がありますが、故障ではありません。構造上、脚部と電動アクチュエータを切り離していますので、脚エアーで足を挟んだ状態で電動アクチュエータが縮んだ時、脚部が離れる瞬間があります。

Q15 自動コース中に、エアーマッサージを全て切ることができますか？

A できません。自動コース中に動作調節のできるエアーマッサージは、パルス・脚同時・脚伸・脚エアーのみになります。

故障かなと思ったら

警告

絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。

発火したり、異常動作して、けがをするおそれがあります。



ご使用中に下記のような音や感覚がありますが、構造上のもので異常ではなく寿命などに影響はありません。

- もみ玉上下移動時のカタカタ音
- マッサージ作動時のギア・モーターの音
- もみ玉と布のすれる音（特に、もみ動作時）
- たたき、さざなみ動作時のガタガタ音（特に肩から背中への移動時）
- もみ、たたき、さざなみ動作時に、もみ玉への力の加わり方によっては、マッサージ動作スピードが変わる場合があります。
- 「速さ」調節による音の違い
- 負荷をかけた時のモーターのうなり音
- 自動コースで使用者の体形に合わせてもみ玉を前後に自動調節している音（クックッ音）
- エアー作動時のコンプレッサーの動作音ならびにエアーの排気音
- エアーバッグが膨らむときに出る音
- 「肩」使用時のキシミ音
- リクライニング時の背もたれや座のこすれ音（ギュー音）
- 左右のもみ玉の高さが異なる
（交互たたき機構を採用しているため、やむをえず発生するもので故障ではありません。）

こんなときは	ここを点検してください	対応のしかた	参考ページ
作動しない	電源コードのプラグが抜けていませんか？	電源コードのプラグをコンセントに入れてください。	12・14
	肘掛部後ろの電源スイッチが切れていませんか？	電源スイッチを入れてください。	12・14
動作が途中で止まる (リモコンを押しても作動しない)	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動してください。 肘掛部の後ろの電源スイッチを一度「切」にし、再度「入」にしてください。	11・12・14
	無理な力がかかっていませんか？ (安全のため、もみ玉に無理な力がかかると安全装置が働き、全ての機能が停止します。)	一旦背もたれから体を離し、肘掛部の後ろの電源スイッチを一度「切」にし、再度「入」にし、動作スイッチを押し、もう一度初めからやり直してください。	12・14
リクライニングができない	電源コードのプラグが抜けていませんか？	電源コードのプラグをコンセントに入れてください。	12・14・15
	背の部分が壁や障害物に当たっていませんか？	障害物に当たらないように本体を移動してください。	11・15・16

お願い



マッサージ動作中や、メカ(もみ玉)の移動中に誤ってメカ(もみ玉)と座部の間からだや物をはさまってしまったとき、保護機能がはたらき少し上に上がってから停止します。そのとき、リモコン液晶中に『保護機能作動 電源スイッチを入れ直し **入/切** を押す』が表示されます。保護機能がはたらいた原因を取り除き、表示内容に従って、再度電源を入れなおしてください。



リモコンの液晶に『エラー発生 電源スイッチを入れ直し **入/切** を押す』が表示された場合は、表示内容に従って、再度電源を入れなおしてください。

※上記の対応を行っても、動作を行わないまたは、同じようなことが度々生じる場合には、本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

愛情点検



このような症状はありませんか。

- こげくさい臭いがする。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常がある。

ご使用中

故障や事故防止のため本体の電源スイッチを「切」にし、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。



しばらく使用しなかった場合、もう一度取扱説明書をよく読み、機器が正常に動作することを確認してから使用する。 事故やけがのおそれがあります。

アフターサービスについて

60ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いたうえで、ご購入先にご連絡ください。

①保証書（別に添付してあります。）

お買い上げの際に保証書をご購入先からお受け取りになり「お買い上げ日」・「ご購入先名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

②保証期間中に修理を依頼される場合

この商品の保証期間は、お買い上げ日から1年間です。ご購入先にご相談ください。保証書の記載内容に従って修理いたします。（なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。）

③保証期間を過ぎて修理を依頼される場合

まずご購入先にご相談ください。修理により、製品機能が維持できる場合には、ご希望に従い有料にて修理いたします。

④その他ご不明な場合

アフターサービスに関するご相談、ならびにご不明な点は、ご購入先または、お客様相談窓口までお問い合わせください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料

診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代

修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料

製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

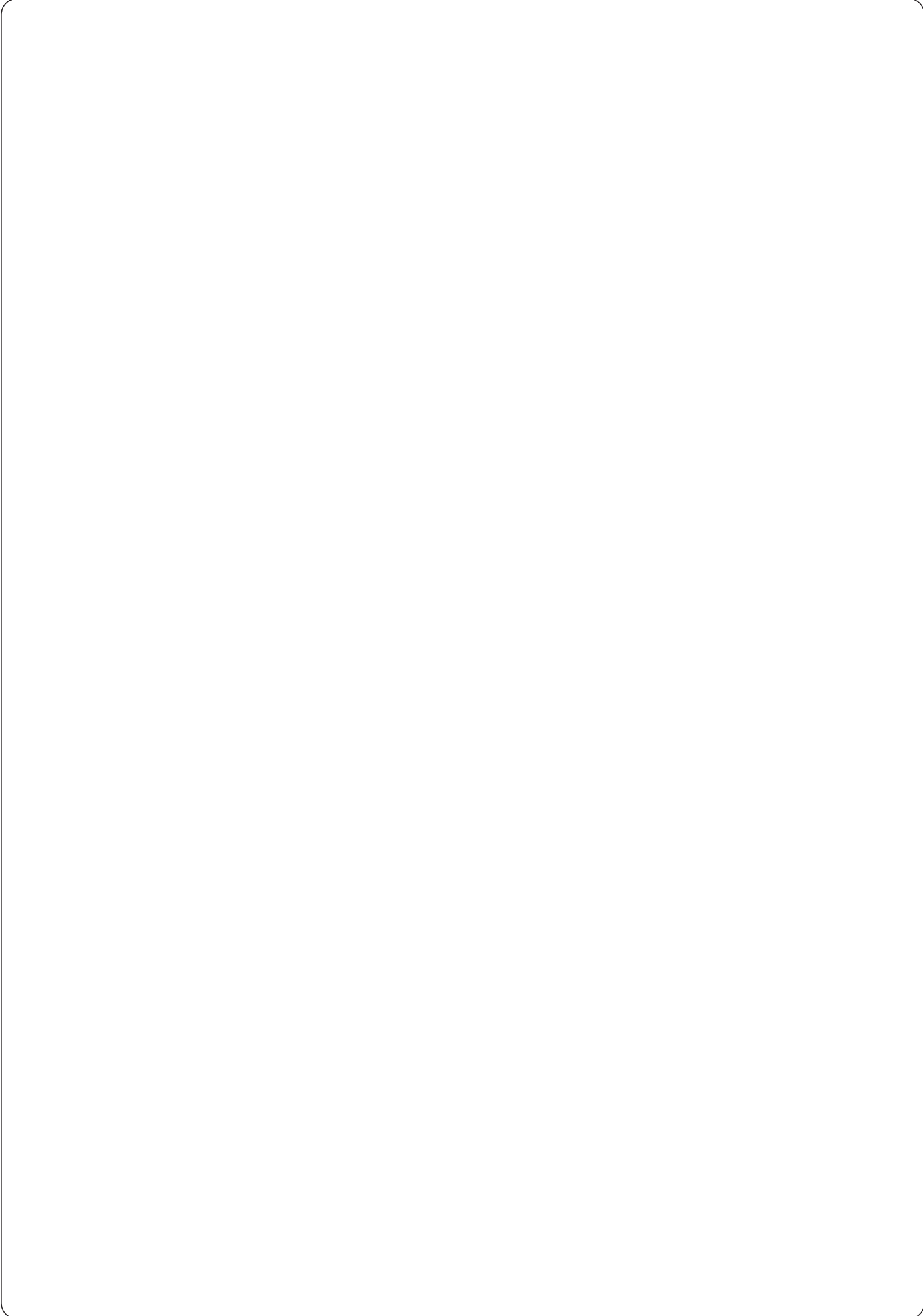
●補修用性能部品の保有期間

当社はこのマッサージ機の補修用性能部品を製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。


仕 様

品名	マッサージチェア	
品番	VP-2000	
類別	機械器具 77 バイブレーター	
一般的名称	家庭用電気マッサージ器 (JMDNコード 34662000)	
医療機器認証番号	220AGBZX00216A01	
定格電圧 (50/60Hz)	AC100V	
定格時間 (50/60Hz)	30分	
定格消費電力 (50/60Hz)	165W	
電動機消費電力 (50/60Hz)	110W	
電熱器消費電力 (50/60Hz)	55W	
メカ (もみ玉) マッサージの速さ	もみ (回転/分)	3段階調節 (約20~約30)
	たたき (回転/分)	3段階調節 (約270~約650)
	上下移動 (cm/秒)	約4.9
エアーマッサージ空気圧	約36kPa	
メカ (もみ玉) マッサージの強さ	7段階調節	
エアーマッサージ強さ	5段階調節	
腕エアーマッサージ強さ	3段階調節	
肩エアーマッサージ強さ	5段階調節	
オートタイマー	約15分	
リクライニング角度	背もたれ	約120度~約170度
	脚部	約0度~約75度
寸法 (約)	リクライニングしていないとき	幅750×奥行1260×高さ1200mm
	リクライニングしたとき	幅750×奥行2030×高さ780mm
質量	約83kg	
張地	PVCレザー、本革	
製造元	株式会社フジ医療器 大阪府大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階	
製造販売元	株式会社フジ医療器 大阪府堺市中区深井沢町284	
原産国	日本製	

MEMO



お客様相談窓口

 フリーダイヤル

0120-027612

受付：月曜～金曜 午前10時～12時
午後 1時～ 5時

※但し、祝祭日、年末年始、夏期休暇は
休ませていただきます。

FAX・E-mailでの受付も行っております。

FAX番号：06-6644-9103

E-mail：fj_soudansitu@fujiiryo.co.jp

※FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様への
ご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	TEL

2008年10月17日（新様式第1版）



美と健康の総合メーカー

株式 **フジ医療器**
会社

〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階